

SONY®

4-569-310-01(1)

ICレコーダー

取扱説明書

インターネット上でヘルプガイド(Web取扱説明書)を閲覧
できます(パソコン・スマートフォン用)。本機の詳しい使
いかたや困ったときの対処方法を説明しています。

<http://rd1.sony.net/help/icd/u53a/ja/>



保証書は、裏面に印刷されています。

準備する

録音する

再生する

消去する

編集する

FMラジオを聞く

メニューについて

パソコンを活用する

その他／困ったときは

ICD-UX533FA

警告 安全のために

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」と「ヘルプガイド」(パソコン等で見る電子マニュアル)には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わない
- 万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

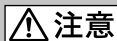
この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用する時も、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。



禁止



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

マニュアルについて



紙で見る

本書(取扱説明書)

ICレコーダーの詳細操作情報を記載しています。

かんたんスタートガイド(別冊)

ICレコーダーの基本操作(録音・再生・消去)や上手に録音、再生するための情報などを記載しています。



パソコン
スマートホン
タブレットで見る

ヘルプガイド

パソコンでICレコーダーを楽しむ情報も含めた詳細な情報や、困ったときの対処方法を調べることができます。(→ 123ページ)

また、外出先などでスマートホンやタブレット端末でも調べることができます。

ICレコーダー サポート・お問い合わせページ(→ 123ページ)

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

Sound Organizerヘルプ(かんたんスタートガイド(別冊))

Sound Organizerの使いかたについて詳しく記載しています。

目次

安全のために.....	2
警告表示の意味.....	2
⚠ 警告.....	3
マニュアルについて.....	4

準備する

箱の中身を確認する.....	9
各部のなまえ.....	10
充電する.....	12
パソコンを使って充電する.....	12
USB ACアダプターを使って充電する.....	14
電源を入れる.....	15
電源を入れる.....	15
電源を切る.....	15
初期設定をする.....	16
電池を充電後すぐに時計を合わせる.....	16
メニューを使って時計を合わせる.....	17
メニューを使って操作音の設定をする.....	18
フォルダとファイルを選ぶ.....	20
タブを選ぶ.....	21
タブについて.....	22

microSDカードを入れる.....	23
メモリーを切り換える.....	25
誤操作を防止する(ホールド).....	27

録音する

録音を始める.....	29
録音を止める.....	30
録音レベルガイドについて.....	30
録音中の音をモニターする.....	31
その他の操作.....	31
録音の設定を変える.....	32
用途に合わせた録音シーンを選ぶ.....	32
Myシーンの設定項目をお好みに編集する.....	34
個別の録音設定項目を変更する.....	34
音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording)録音.....	37
接続して録音する.....	39
他の機器の音声を録音する.....	39

再生する

ファイルを選んで再生する	42
録音した直後に再生する	42
再生を止める	42
その他の操作	43
再生の設定を変える	44
再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする — ノイズカット機能	44
録音を書き起こす(書き起こし用再生)	45
再生速度を調節する — DPC (Digital Pitch Control)	47
音質を切り換える(エフェクト)	48
再生モードを変える	49
より便利な再生方法	51
高音質で再生する	51
再生中に早送り/早戻しする — キュー/レビュー	51
聞きたいところをすばやく探す — イージーサーチ機能	52
カレンダーから録音した日付を選んで再生する ..	54
希望の時刻に再生を始める — アラーム再生	56

接続して再生する	58
本機の音声を他の機器で録音する	58

消去する

ファイルを消去する	59
フォルダの中身を一度に消去する	60

編集する

フォルダ内のファイルを整理する	61
ファイルを別のフォルダに移動する	61
ファイルを別のメモリーにコピーする	62
トラックマークを使う	64
トラックマークを付ける	64
トラックマークを消去する	65
すべてのトラックマークを消去する	66
ファイルを分割する	67
現在位置で分割する	67
すべてのトラックマーク位置で分割する	68
名前を変更する	70
フォルダの名前を変更する	70
ファイル名を変更する	71

ファイルを保護する.....	73
----------------	----

FMラジオを聞く

FMラジオ放送を選局する.....	74
地域を設定して放送局を自動登録する (初めてお使いになるとき).....	74
プリセット登録されている放送局から選局する (プリセット選局).....	76
放送局を周波数で選局する (マニュアルスキャン選局).....	77
FMラジオ放送を録音する.....	78
プリセットリストを設定、編集する.....	79
地域を指定して登録する(地域設定).....	79
プリセットした地域設定を切り換える (プリセットリスト選択).....	81
放送局名を変更する(放送局名変更).....	82
自動でプリセット登録する (オートプリセット).....	83
手動でプリセット登録する.....	84
プリセット登録を消去する.....	85

FMラジオ受信の設定を変更する.....	86
スキャン感度を切り換える.....	86
音声の出力先を切り換える.....	87

メニューについて

メニューの使いかた.....	88
メニュー項目一覧.....	89
表示設定をする.....	90
本体設定をする.....	92

パソコンを活用する

パソコンにつないで使う.....	95
本機をパソコンに接続する.....	95
フォルダとファイルの構成.....	96
本機をパソコンから取り外す.....	99
ファイルを本機からパソコンにコピーして 保存する.....	100

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する	101
パソコンにある音楽ファイルを本機にドラッグアンドドロップしてコピーする	101
コピーした音楽ファイルを本機で再生する	101

その他

USB ACアダプターにつないで使う	103
本機を取り外す	104
使用上のご注意	105
主な仕様	107
必要なシステム構成	107
本機の仕様	108
最大録音時間	110
音楽ファイル最大再生時間／ファイル数	110
電池の持続時間	111
保証書とアフターサービス	112
保証書	112
アフターサービス	112

困ったときは

困ったときは	113
症状から調べる	114
こんなときは(本機)	114
システム上の制約	122
サポートホームページで調べる	123
ヘルプガイドで調べる	123
安全のために	124
△ 注意	124
電池についての安全上のご注意	125
著作権と商標について	128
索引	130

箱の中身を確認する

本体(1)

ソニー単4形充電式ニッケル水素電池(1)

取扱説明書 本書(1)

かんたんスタートガイド(1)

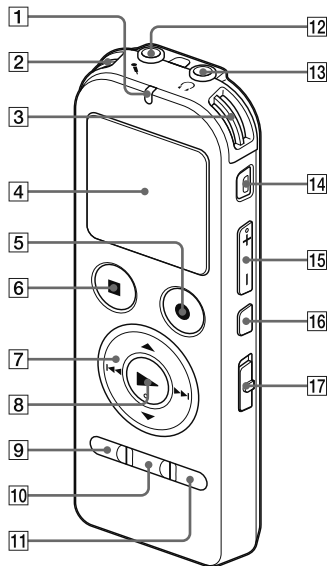
保証書

(取扱説明書の裏面に印刷されています。)

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

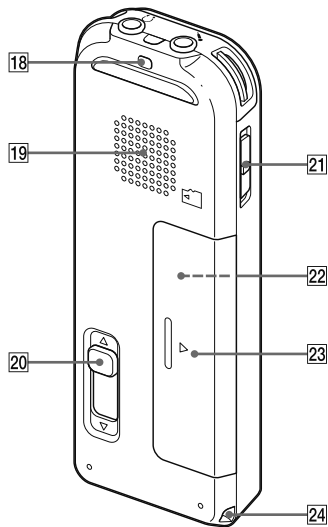
本体(表面)



- 1 動作表示ランプ
- 2 内蔵マイク(L)
- 3 内蔵マイク(R)
- 4 表示窓
- 5 ● 録音／一時停止ボタン
- 6 ■ 停止ボタン
- 7 コントロールボタン (▲、▼ / ◀▶ (早戻し)、▶▶ (早送り))
- 8 ▶ (再生／決定)ボタン*
- 9 メニュー／FMボタン
- 10 フォルダボタン
- 11 トラックマークボタン
- 12 ● (マイク)ジャック*
- 13 ◯ (ヘッドホン)ジャック
- 14 消去ボタン
- 15 音量－／＋ボタン*
- 16 ◀ (リピート) A-Bボタン
- 17 DPC (速度調節)スイッチ

* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

本体(裏面)



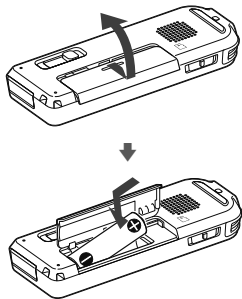
- 18 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)
- 19 スピーカー
- 20 USB DIRECT (スライド式USB端子用) つまみ
- 21 ホールド・電源スイッチ
- 22 microSDカードスロット
(電池ぶたの中にあります。)
- 23 電池ぶた
- 24 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)

充電する

パソコンを使って充電する

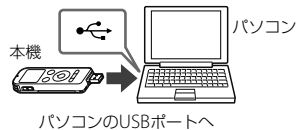
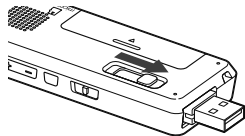
1 充電電池を入れる。

電池ふたを矢印の方向へずらして開け、単4形充電式ニッケル水素電池(付属)を入れ、ふたを閉めます。

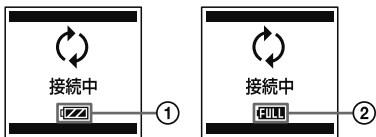


2 本機をパソコンにつなぐ。

裏面のUSB DIRECTつまみを矢印の方向へスライドして、USB端子を起動しているパソコンにつなぎます。



充電中は、「接続中」と電池マーク(①)がアニメーション表示されます。



充電が完了すると、電池マークが「FULL」(②)と表示されます。

はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「FULL」になるまで連続して充電してください。

電池を使いきった状態から約3時間30分で充電が完了します。*

3 本機をパソコンから取り外す。

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

① 動作表示ランプが消えていることを確認する。

② パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。



→ [IC RECORDERの取り外し] (Windows 7、Windows 8、Windows 8.1) または、[USB大容量記憶装置 - ドライブを安全に取り外します] (Windows Vista) を左クリックしてください。アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

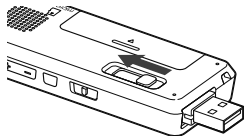
お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

Macの場合：

Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取り外しアイコンをクリックしてください。

パソコンから取り外す方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- ③ 本機をパソコンのUSBポートから外し、本機のUSB DIRECTつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。



- * 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、前ページの充電時間と異なる場合があります。

■ ご注意

- 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態(スタンバイ、スリープ)のときは充電できません。
- メニューで「USB充電」が「オフ」になっていると、充電できません。設定を「オン」にしてください。

充電済みの充電電池、または別売の単4形アルカリ乾電池を使うときは

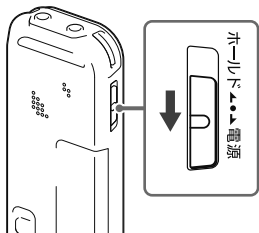
手順1にしたがって準備します。

USB ACアダプターを使って充電する

別売のUSB ACアダプター (AC-UD20など) を使って充電することもできます(103ページ)。

電源を入れる

電源を入れる



画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、「アクセス中...」のアニメーションが表示され、電源が入ります。

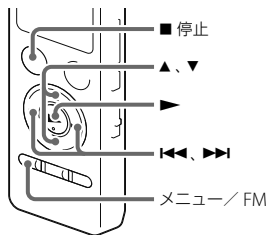
電源を切る

「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

💡 ヒント

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働き、電源が切れます。(お買い上げ時は、設定は10分になっています。設定方法について詳しくは、「オートパワーオフ」(94ページ)をご覧ください。)
- スリープタイマーが設定されているときは、設定時間になると自動的に電源が切れます。

初期設定をする



電池を充電後すぐに時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま1分以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」のアニメーションが表示され、年表示が点滅します。

1 年月日と時分を合わせる。

▲または▼を押して、年の数字(西暦の下2桁の数字)を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀◀または▶▶を押すと、年、月、日、時、分を移動することができます。

「分」の数字を選び、▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。



設定が完了すると停止画面に戻ります。

メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

1 メニュー画面で「時計設定」を選ぶ。

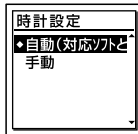
- ① メニュー／FMボタンを押してメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。



- ② **◀◀** を押した後、**▲** または **▼** を押して **📁** タブを選び、**▶** ボタンを押す。
- ③ **▲** または **▼** を押して、「時計設定」を選び、**▶** ボタンを押す。



- 2 **▲** または **▼** を押して「自動(対応ソフトと同期)」または「手動」を選び、**▶** ボタンを押す。



「自動(対応ソフトと同期)」を選んだ場合：本機をパソコンにつないでアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。
「手動」を選んだ場合は次の手順に進んでください。

- 3 **▲** または **▼** を押して、「15y1m1d」を選び、**▶** ボタンを押す。



4 年月日と時分を合わせる。

▲ または ▼ を押し、年の数字(西暦の下2桁の数字)を選び、▶ ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀◀ または ▶▶ を押し、年、月、日、時、分を移動することができます。「分」の数字を選び、▶ ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

■ ご注意

それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

💡 ヒント

停止中にホールドにすると、現在時刻が表示されます。

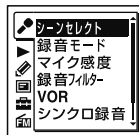
メニューを使って操作音の設定をする

操作確認音のオン/オフを設定します。

1 メニュー画面で「操作音」を選ぶ。

- ① メニュー / FM ボタンを押してメニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。



- ② ◀◀ を押した後、▲ または ▼ を押し、🗄️ タブを選び、▶ ボタンを押す。

- ③ ▲ または ▼ を押し、「操作音」を選び、▶ ボタンを押す。



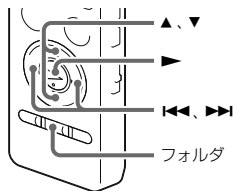
2 ▲ または **▼** を押して「オン」または「オフ」を選び、**▶** ボタンを押す。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

■ **ご注意**

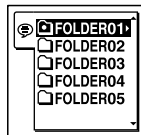
「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。

フォルダとファイルを選ぶ



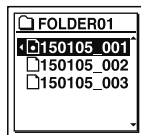
録音、再生、編集するファイル、フォルダを選ぶことができます。

- 1 フォルダボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。
- 2 フォルダを選ぶ。
▲または▼を押してフォルダを選び、▶ボタンを押します。
フォルダ内のファイル選択画面を表示するには、▲または▼を押してフォルダを選び、▶▶を押します。

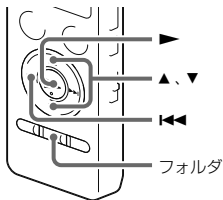


お買い上げ時には、FOLDER01～05の5個のフォルダが作成されています。

- 3 ファイルを選ぶ。
ファイル選択画面が表示されているときは、▲または▼を押して、ファイルを選び、▶ボタンを押します。
停止画面が表示されているときは、◀◀または▶▶を押してファイルを切り換えることができます。



タブを選ぶ



本機で保存するフォルダは、録音可能エリアと再生専用エリアに分けて管理され、タブで表示されます。フォルダを選ぶときは、タブを切り換えることによりエリアを移動することができます。

- 1 フォルダボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。
- 2 ◀◀ を押した後、▲または▼を押して ☎タブ、♪タブ、📶タブ、📀タブのいずれかを選ぶ。



- 3 ▶ボタンを押す。
選択したタブ内のフォルダ選択画面が表示されます。
- 4 フォルダ、ファイルを選ぶ(20ページ)。
フォルダの種類により、フォルダアイコンが異なります。
 - 📁：録音可能フォルダ
 - 📁：再生専用フォルダ
 - 📁：ポッドキャストフォルダ

お買い上げ時には、☎タブのみ表示されます。♪タブ、📶タブは、パソコンからファイルを転送すると表示されます(101ページ)。
📀タブは、本機にメモリーカードを入れる则表示されます(23ページ)。

タブについて

🎧(Voice)タブ



本機で録音したファイルが保存されます。

🎵(Music)タブ

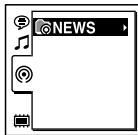


パソコンから転送したフォルダのうち、以下のフォルダが表示されます。

- MUSICフォルダ配下のフォルダのうち、中にファイルを含むフォルダ(階層が深い場合は、すべて並列に表示されます。)

- MUSICフォルダ配下またはPODCASTSフォルダ配下以外の場所に転送されたフォルダ
- 「未分類」フォルダ(単独で転送したファイルは、このフォルダ配下に表示されます。)

🎧(Podcast)タブ



パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダが表示されます。

ポッドキャストファイルをパソコンから本機に転送する際は、Sound Organizerをご使用ください。

📁(内蔵メモリー)タブ

本機にmicroSDカードを入れ、メニューの「メモリー切り換え」を「内蔵メモリー」にすると表示されます。

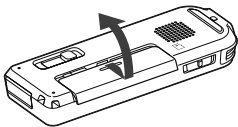
📁(microSDカード)タブ

本機にmicroSDカードを入れ、メニューの「メモリー切り換え」を「microSDカード」にすると表示されます。

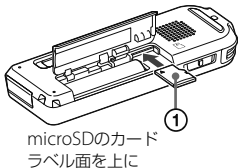
microSDカードを入れる

本機では、内蔵メモリーの他に、別売のmicroSDカードに音声を記録できます。

- 1 停止中に電池ぶたを開ける。
microSDカードスロットは電池ぶた内にあります。



- 2 ラベル面を上にしてmicroSDカード①をmicroSDカードスロットに、カチッと音がする奥までしっかり差し込む。



- 3 電池ぶたを閉める。
「microSDカードに切り換えますか?」と表示されます。

❏ ご注意

電源が入っていないときに操作をした場合は、メッセージが表示されません。電源を入れてから、フォルダ選択画面またはメニューでメモリーを切り換えてください(25ページ)。

- 4 ▲または▼を押して、「はい」または「いいえ」を選び、▶ボタンを押す。

❏ ご注意

- microSDカードが認識されない場合はmicroSDカードを取り出し、再度入れ直してください。
- microSDカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、microSDカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 録音する前に、microSDカードに保存されているデータをパソコンに保存し、本機で初期化して空の状態にしてからお使いください(94ページ)。

本機で使用できるmicroSDカード

本機では、以下のmicroSDカードをお使いになれます。

メモリーカード	対応
microSD/SCHCカード(2 GB ~ 32 GB)	○
microSDXCカード(64 GB以上)	×

最新の動作確認済みmicroSDカードについては、ICレコーダー サポート・お問い合わせページ <http://www.sony.jp/support/ic-recorder/> をご覧ください。

microSDカードに記録・再生できるファイルのサイズはICレコーダーの仕様上、1ファイルにつきLPCMは2 GB未満、MP3/WMA/AAC-LCは1 GB未満です。

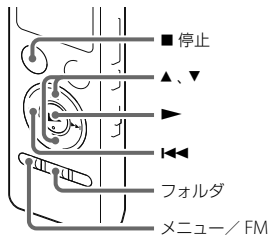
■ ご注意

対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。

microSDカードを取り出すには





microSDカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、microSDカードスロットから取り出します。

メモリーを切り換える





使用するメモリーを、内蔵メモリーとmicroSDカード間で切り換えることができます。

フォルダ選択画面から切り換える

- 1 フォルダボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。
- 2 ◀◀ を押した後、▲または▼を押して、 または  タブを選ぶ。
 (内蔵メモリー) または  (microSDカード) タブは、本機にmicroSDカードを入れる则表示されます(23ページ)。

- 3 ▶ ボタンを押す。
メモリー選択画面が表示されます。
- 4 ▲ または ▼ を押して、「内蔵メモリー」または「microSDカード」を選び、▶ ボタンを押す。




選択したメモリーのタブ ( または ) が表示されます。

- 5 停止画面に戻すには、■ 停止ボタンを押す。


❗ ご注意

microSDカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

メニューから切り換える

- 1 メニュー →  タブ → 「メモリー切り換え」を選び、
▶ ボタンを押して決定する。



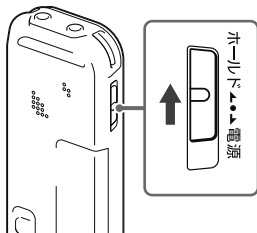
- 2 ▲ または ▼ を押して、「内蔵メモリー」または「microSDカード」を選び、▶ ボタンを押す。
「microSDカード」を選んだ場合、microSDカードがフォーマット済みの場合は手順5に進んでください。
- 3 microSDカードを初期化していない場合は、メニュー →  タブ → 「メモリー初期化」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
「全てのデータを消去しますか?」と表示されます。
- 4 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

誤操作を防止する(ホールド)

本機を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます(ホールド)。

ボタン操作をできなくするには

電源が入っているときにボタン操作をできなくするには、ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。



「ホールド」と現在時刻が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。



💡 ヒント

時刻表示は、メニュー設定で、時刻表示形式(12時間、24時間)を切り換えることができます(93ページ)。

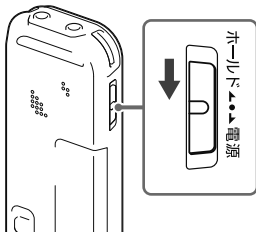
例：12:00 (24時間表示) / 12:00 PM (12時間表示)

ボタン操作をできるようにするには

ホールドになっているときにボタン操作をすると、「ホールド中 解除してください」と表示されます。



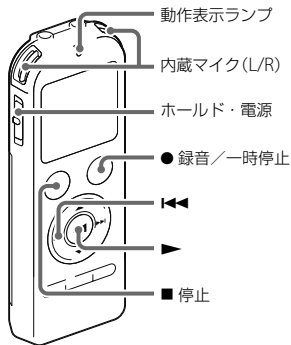
ホールドを解除するには、ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドします。



👁️ ホールド中でもアラーム再生は止められます

アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音やファイル再生を止めることができます。(通常のファイル再生は停止できません。)

録音を始める



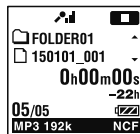
ここでは、基本的な録音操作の手順について説明します。
設定したマイク感度と録音モードで録音を行います。

💡 ヒント

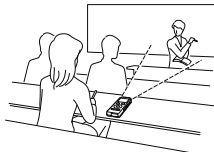
録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター (31ページ) をしながら録音することをおすすめします。

- 1 ホールド・電源スイッチを「電源」の位置にスライドして電源を入れる(15ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する(27ページ)。

停止画面が表示されます。



- 2 録音したいフォルダを選ぶ(20ページ)。
- 3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



- 4 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。
動作表示ランプが赤く点灯します。
● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。
新しいファイルは自動的にフォルダの最終ファイルとして録音されます。

■ ご注意

録音中、本機に手などがあたってたり、こすったりすると雑音
が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

録音を止める

1 ■ 停止ボタンを押す。

「アクセス中...」のアニメーションが表示され、今録音したファイルのはじめで停止します。

アクセス中のご注意

画面上に「アクセス中...」のアニメーションが出ている間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、電池を外したり、USB ACアダプター（別売）を抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

録音レベルガイドについて

録音中は、録音レベルガイド(①)が表示されます。



上段に録音中の入力レベルが表示されます。下段の白いバーは、入力レベルの適正範囲を表示します。

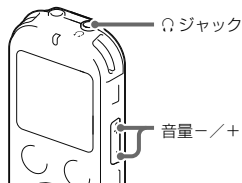


上の図のように、録音中の入力レベルが、下段の白い部分に収まるように、マイクの方向や音源からの距離を調節したり、マイク感度、シーンセレクトの設定を変更してください。

💡 ヒント

入力レベルの白く表示される部分が少ない場合は、音源の近くに移動したり、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

録音中の音をモニターする



別売のヘッドホンをイヤホンジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量-/+ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音/一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は動作表示ランプが赤く点滅し、 ● (録音一時停止)表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音/一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。(録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。)
今録音したばかりのファイルを聞く	▶ ボタンを押す。 録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。
早戻し(レビュー)再生する	録音中または録音一時停止中に◀◀ を長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し(レビュー)再生されます。◀◀ を離すと、離れたところから再生が始まります。

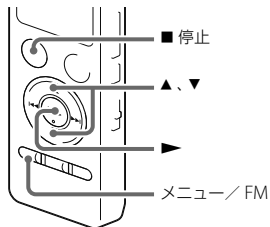
* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

💡 ヒント

Sound Organizerを使うと、新しいフォルダを作ったり、フォルダを消去することができます。

録音の設定を変える

用途に合わせた録音シーンを選ぶ



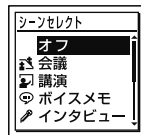
さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード(35ページ)やマイク感度(35ページ)などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます(シーンセレクト機能)。「Myシーン1」、「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

■ ご注意






登録されているシーンは、すべての環境に対応しているわけではありません。

環境に合ったシーンがない場合は、「Myシーン1」や「Myシーン2」をご使用ください。

- 1 停止中にメニュー → 🔍 タブ → 「シーンセレクト」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
- 2 ▲ または ▼ を押して、お好みのシーンを選び、▶ ボタンを押す。











- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。





オフ*	シーンセレクト機能をオフにします。
 (会議)	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
 (講演)	講演会や講義を録音するときに適しています。
 (ボイスメモ)	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
 (インタビュー)	インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1～2 mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
 (歌・音楽)	大人数での合唱練習やカラオケなど比較的大きな音を2～3 mくらいの距離で録音するときに適しています。
S1 (Myシーン1)	録音モード、マイク感度などをお好みに合わせて編集することができます。
S2 (Myシーン2)	録音モード、マイク感度などをお好みに合わせて編集することができます。

* お買い上げ時の設定

各シーンのお買い上げ時の録音設定について

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは35～36ページをご覧ください。




	 (会議)	 (講演)	 (ボイスメモ)	 (インタビュー)
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 128kbps	MP3 128kbps
マイク感度	 中	 中	 低	 中
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)	LCF (Low Cut)	NCF (Noise Cut)

	 (歌・音楽)	S1 (Myシーン1)*	S2 (Myシーン2)*
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps
マイク感度	 低(音楽)	 中	 中
VOR	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	オフ	オフ	オフ


* お買い上げ時の設定

Myシーンの設定項目をお好みに編集する

「Myシーン1」または「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

- 1 メニューの「シーンセレクト」を「オフ」にする。
停止中にメニュー→タブ→「シーンセレクト」→「オフ」を選びます。
- 2 録音に関するメニューをお好みに設定する。
停止中にメニュー→タブを選びます。設定できるのは以下のメニューです。
録音モード／マイク感度／録音フィルター／VOR
- 3 停止中にメニュー→タブ→「シーンセレクト」→「Myシーン1」または「Myシーン2」を選ぶ。
- 4 ▲または▼を押して、「登録」を選び、▶ ボタンを押す。
「現在の録音設定を登録しますか？」と表示されます。
- 5 ▲または▼を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。
現在の録音設定が登録されます。

💡ヒント


「Myシーン1」または「Myシーン2」の設定値は、タブの「設定初期化」を実行するとお買い上げ時の設定に戻ります。

個別の録音設定項目を変更する

録音するファイルの録音モード(音質など)、マイク感度、録音フィルターを設定することができます。録音を始める前に設定します。

❗ ご注意

シーンセレクト設定時は、設定できません。「シーンセレクト」を「オフ」にしてから操作してください。

- 1 停止中にメニュー→タブを選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、変更したい項目を選び、▶ ボタンを押す。
設定を変更します。
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

録音モード






音質などを設定します。

LPCM 44.1kHz/16bit	非圧縮ステレオ高音質録音
MP3 192kbps*	ステレオ標準録音
MP3 128kbps	ステレオ長時間録音
MP3 48kbps(MONO)	モノラル標準録音
MP3 8kbps(MONO)	モノラル長時間録音

* お買い上げ時の設定

マイク感度

マイク感度を設定します。

 高	広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
 中*	会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。
 低	口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。
 高(音楽)	少人数でのコーラスや小さい音、楽器から離れた場所での録音に適しています。
 低(音楽)	大きな音のバンド練習やカラオケなどの録音に適しています。

* お買い上げ時の設定

録音フィルター

録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

NCF(Noise Cut)	音声以外の周波数の音をカットし、軽減することができます。
----------------	------------------------------

NCF

LCF(Low Cut)	低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することができます。
--------------	----------------------------------------------

LCF

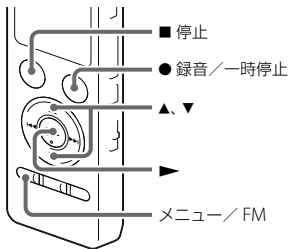
オフ*	録音フィルターを解除します。
-----	----------------

* お買い上げ時の設定

■ご注意

- シーンセレクト設定時は、設定できません。シーンセレクトをオフにしてから操作してください。
- 「外部入力選択」が「Audio IN」に設定されているときや、FMラジオ録音中(78ページ)は、マイク感度設定と録音フィルター機能が無効になります。

音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording)録音



ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

- 1 メニュー → タブ → 「VOR」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

- 4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

VOR が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、VOR (録音一時停止) が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。

VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

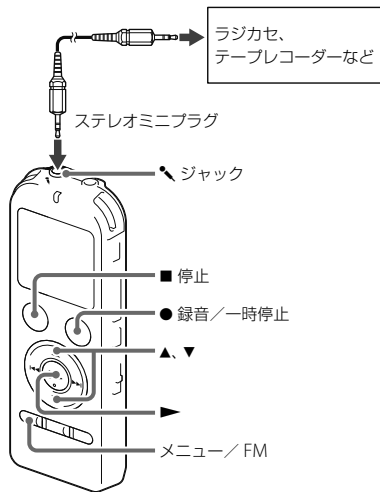
手順2で「VOR」を「オフ」にします。

■ ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。
- シンクロ録音中(39ページ)、FMラジオ録音中(78ページ)はVOR機能は働きません。
- 「VOR」の設定を変更する場合は、あらかじめ●タブの「シーンセレクト」を「オフ」に設定してください。

接続して録音する

他の機器の音声を録音する





ラジカセ、テープレコーダーなど、他の機器の音声/音楽を本機に録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

💡 ヒント

入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使って本機と接続し、本機の録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

シンクロ録音機能を使って録音する

2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感じたところから新しいファイルとして録音します。

- 1 停止中に他の機器を本機の  ジャックにつなぐ。
他の機器の音声出力端子を市販のオーディオコードを使って、本機の  ジャックにつなぎます。
画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください。

MIC IN* マイクジャックに外部マイクをつないだときに選びます。

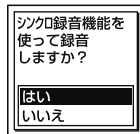
Audio IN マイクジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。


* お買い上げ時の設定

■ ご注意

外部マイクはプラグインパワー方式のものをお使いください。


- 2 ▲ または ▼ を押して、「Audio IN」を選び、▶ ボタンを押す。
「シンクロ録音機能を使って録音しますか?」と表示されます。




- 3 ▲ または ▼ を押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
シンクロ録音を設定されます。
- 4 ● 録音 / 一時停止ボタンを押す。
SYNC  が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

5 つないだ機器で再生を始める。

SYNC 録音 が表示され、シンクロ録音が始まります。

2秒以上無音の部分が続くと、「分割中...」の表示が出たあと、**SYNC**  が点滅して、シンクロ録音が一時停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときに、次に音を感知したところから新しいファイルとして、シンクロ録音が再開されます。

💡 ヒント

- シンクロ録音は、メニュー →  タブ → 「シンクロ録音」で設定することもできます。
- オーディオコードは抵抗入りのものは使わないでください。

シンクロ録音機能を使わずに録音するには

「シンクロ録音機能を使って録音する」の手順3で「いいえ」を選び、手順4、5に従ってつないだ機器から録音を行います。

手順4で、● 録音／一時停止ボタンを押すと、内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声が録音されます。

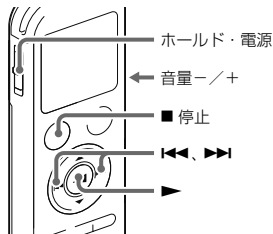
💡 ヒント

録音を止めるには、■ 停止ボタンを押してください。

⚠️ ご注意

シンクロ録音が「オフ」になっていても、VORが「オン」になっていると、VOR機能が働いて録音が一時的に停止することがあります。録音を一時停止させたくない場合は、VORを「オフ」にしてください。

ファイルを選んで再生する



- 1 ホールド・電源スイッチを「電源」の位置にスライドして電源を入れる(15ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する(27ページ)。
停止画面が表示されます。

- 2 再生したいファイルを選ぶ(20ページ)。
ファイルを選ばない場合は、録音したばかりのファイルが再生されます。

- 3 ▶ボタンを押す。
再生が始まり、動作表示ランプが緑に点灯します。

- 4 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。

録音した直後に再生する

録音を停止したあとに、録音停止画面で▶ボタンを押すと、直前に録音したファイルを再生できます。

再生を止める

- 停止ボタンを押す。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する ▶ ボタンを押す。
もう一度 ▶ ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの頭に戻る ⏮ を短く1回押す。*1*2

前のファイル、さらに前のファイルに戻る ⏮ を短く何回か押す。
(停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*3)

次のファイルに進む ▶▶ を短く1回押す。*1*2

さらに次のファイルに進む ▶▶ を短く何回か押す。
(停止中は押したままにすると、連続して進みます。*3)

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます(64ページ)。

*2 メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です(52ページ)。

*3 トラックマークには止まりません。

曲情報を切り換える

停止／再生中に ▲ または ▼ を押してファイルの曲情報を切り換えて確認することができます。

本機で録音されたファイルは、下記のように表示されません。



📁 : フォルダ名を表示 : FOLDER01 ~ FOLDER05 (パソコンからコピーしたフォルダの場合は「📁」が表示されます。)

📄 : ファイル名を表示 : 年月日_番号
(例 : 150101_001)



👤 : アーティスト名を表示 : My Recording

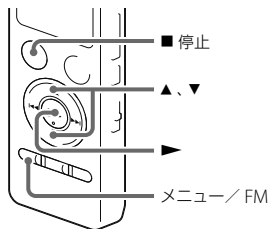
🎵 : タイトル名を表示 : 年月日_番号 (例 : 150101_001)

⚠ ご注意

DPC再生中は曲情報の切り換えはできません。

再生の設定を変える

再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする
— ノイズカット機能



再生時にノイズカット機能を有効に設定すると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生することができます。

- 1 停止／再生時に、メニュー→▶ タブ→「ノイズカット」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、「オート」、「強」または「弱」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。
ノイズカットを設定すると、画面には **N-CUT** が表示されます。

ノイズカットを解除するには

手順2で「オフ」を選択します。

メニュー項目	詳細
オート	本機で録音したファイルに応じて自動的にノイズカットレベルを設定します。
強	ノイズカットレベルを強くします。
弱	ノイズカットレベルを弱くします。「強」にして音声聞き取りにくいときに選びます。
オフ*	ノイズカット機能を解除します。

* お買い上げ時の設定

録音を書き起こす(書き起こし用再生)

録音した1つのファイルを早送り／早戻ししながら聞きたい箇所を探したり、デジタルピッチコントロール(DPC)で速度調節しながら再生することができます。議事録等を書き起こすときに便利なモードです。

- 1 停止中に、メニュー→▶タブ→「書き起こし用再生」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▶ボタンを押して再生を開始する。

書き起こし用再生中は次の機能を使用して、再生音を調節することができます。



- DPC：再生速度を変更して聞き取りやすくすることができます。DPC（速度調節）スイッチを「入」にして、▲または▼を押して速度を調節します。
- イージーサーチ：◀◀/▶▶を押して聞きたいところをすばやく探すことができます。
- キュー・レビュー：◀◀/▶▶を押したままにして早戻し/早送りし、聞きたいところを探すことができます。

書き起こし再生モードを終了するには

- 1 停止中に■停止ボタンを押す。
「書き起こし用再生を終了しますか？」と表示されます。
- 2 ▲または▼を押して「はい」を選び、▶ボタンを押す。
通常の停止画面に戻ります。

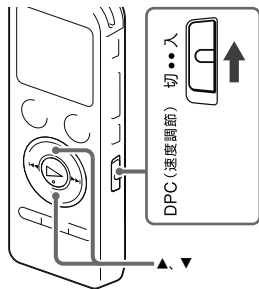
❗ ご注意

- スリープタイマーの設定時間が経過すると、書き起こし用再生中でも電源が切れスリープモードに入ります。
- 書き起こし用再生中は次の機能が働きません。
 - 録音操作
 - 音質の設定(エフェクト)
 - 再生モード
 - ファイルの選択
 - ファイル消去
 - ファイルリストの表示
 - A-B リPEAT

💡 ヒント

- 違うファイルを聞きたいときは、書き起こし用再生モードを終了してください。
- 書き起こし用再生モード中にメニュー設定可能な機能は下記になります。
 - 書き起こし終了
 - ノイズカット
 - イージーサーチ間隔設定
 - 保護
 - トラックマーク消去
 - トラックマーク全消去
 - スリープタイマー

再生速度を調節する — DPC (Digital Pitch Control)



再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。再生中に加え、書き起こし用再生中も再生速度を変えることができます。

- 1 DPC (速度調節)スイッチを「入」にする。
- 2 再生中に ▲ または ▼ を押して、再生速度を調節する。
0.05倍速刻みで遅くする(x0.50 ~ x1.00)
0.10倍速刻みで速くする(x1.00 ~ x2.00)
ボタンを長押しすると連続して設定できます。
お買い上げ時は、「x0.70」になっています。

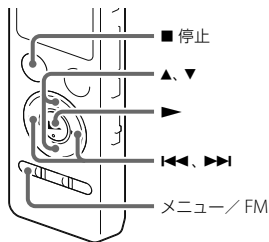
通常の再生速度に戻すには

DPC (速度調節)スイッチを「切」にします。

❏ ご注意

LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。「NO FAST」と表示されます。

音質を切り換える(エフェクト)



音楽ファイルやポッドキャストなどを再生するときの音質効果を設定します。

- 1 音楽ファイルやポッドキャストなどの再生停止中や再生中に、メニュー→▶タブ→「エフェクト」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、好みの音質を選び、▶ボタンを押す。

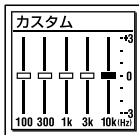
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ポップス ▶▶▶P	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ロック ▶▶▶R	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ジャズ ▶▶▶J	高域を強調した張りのある音質になります。
ベース1 ▶▶▶BA1	低音が強調されます。
ベース2 ▶▶▶BA2	低音が更に強調されます。
カスタム ▶▶▶C	5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。
オフ*	エフェクト機能を無効にします。

* お買い上げ時の設定

自分好みの音質に設定するには

- 1 手順2で「カスタム」を選び、▶ボタンを押す。
カスタム設定画面が表示されます。
- 2 100Hz、300Hz、1kHz、3kHzまたは10kHzの周波数帯のレベルを調節する場合は、◀◀ または ▶▶ を押してそれぞれの周波数帯へ移動し、▲ または ▼ を押してレベルを調節する。
-3 ~ +3の7段階に設定できます。



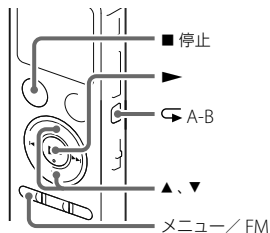
- 3 ▶ボタンを押す。
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

■ ご注意

次の場合は、エフェクト機能は動きません。

- 内蔵スピーカーで再生しているとき
- FMラジオを受信しているとき
- ノイズカット機能が有効に設定されているとき
- 「書き起こし用再生」を選択しているとき


再生モードを変える





メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

- 1 停止／再生時にメニュー→▶タブ→「再生モード」を選び、▶ボタンを押して決定する。



2 ▲または▼を押して、「1」、「


3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

1	1ファイルを再生する。
 *	フォルダ内のファイルを連続再生する。
ALL	全ファイルを連続再生する。
 <p>* お買い上げ時の設定</p>	


💡 ヒント

再生中に▶ボタンを1秒以上押すと、メニューで設定しなくても、1ファイルをリピート再生をすることができます。

必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

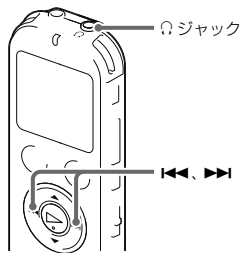
- 1 再生中に 

💡 ヒント

- A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには、

50

より便利な再生方法



高音質で再生する

- ヘッドホンで聞く：
別売のヘッドホンをお 3.5mm ジャックにつないでください。
スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
別売のアクティブスピーカーをお 3.5mm ジャックにつないでください。

再生中に早送り／早戻しする — キュー／レビュー

- 早送り(キュー)：
再生中に ▶▶ を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し(レビュー)：
再生中に ◀◀ を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

🔔 最後のファイルの終わりまで再生または早送り(キュー)すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」と動作表示ランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に ◀◀ を押したままにすると、早戻しされ、離れたところから再生が始まります。

聞きたいところをすばやく探す — イージーサーチ機能

イージーサーチ機能を使うと再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

また、早送り／早戻しの間隔を設定することで、会議録音など長時間録音したもので、聞きたいところをすばやく探すことができます。

- 1 停止／再生時にメニュー→▶タブ→「イージーサーチ」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 現在の間隔で早戻し、早送りをするには、▲または▼を押して、「オン」を選び、▶ボタンを押す。(手順5へ)

間隔を変更するには、▲または▼を押して、「間隔設定」を選び、▶ボタンを押す。



- 3 ▲または▼を押して、「イージーサーチ送り」または「イージーサーチ戻し」を選び、▶ボタンを押す。



- 4 ▲または▼を押して、早送り、早戻しの間隔を設定し、▶ボタンを押す。

💡 ヒント

早戻し、早送り、両方の間隔を設定するには、手順3と4を繰り返します。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

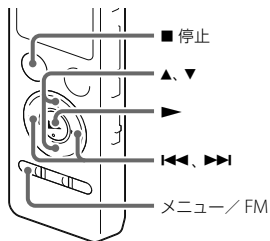
オン	再生中、▶▶ を押すと、設定した間隔進み、◀◀ を押すと、設定した間隔戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。
オフ*	イージーサーチ機能を無効にします。▶▶ または ◀◀ を押すと、ファイルを早送り／早戻しします。
間隔設定	<p>イージーサーチ送り、戻しの間隔を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定完了：イージーサーチ送り、イージーサーチ戻しの設定を有効にします。 イージーサーチ送り：▶▶ を押したときに進む間隔を、5秒、10秒*、30秒、1分、5分、10分から選びます。 イージーサーチ戻し：◀◀ を押したときに戻る間隔を、1秒、3秒*、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分から選びます。

* お買い上げ時の設定


💡 ヒント

書き起こし用再生中も間隔設定をすることができます。

カレンダーから録音した日付を選んで再生する



本機で録音したファイルを、カレンダーから検索して再生できます。

- 1 メニュー →  タブ → 「カレンダー表示」を選び、
▶ ボタンを押して決定する。



「アクセス中...」のアニメーションの後に、カレンダーが表示され、現在の日付が選択されます。

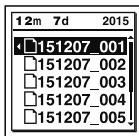
- 2 ◀◀ または ▶▶ を押して、日付を選び、▶ ボタンを押す。

ファイルが存在する日付には下線が表示されます。

12	2015					
S	M	T	W	T	F	S
		1	2	<u>3</u>	4	5
6	<u>7</u>	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

▲ または ▼ を押すと、前後の週へ移動します。それぞれのボタンを長押しすると、連続して移動します。

- 3 ▲または▼を押して、ファイルを選び、▶ボタンを押す。



確認画面が表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

- 4 ▲または▼を押して、「決定」を選び、▶ボタンを押す。
ファイルが再生されます。

- 5 再生を止めるには、■停止ボタンを押す。

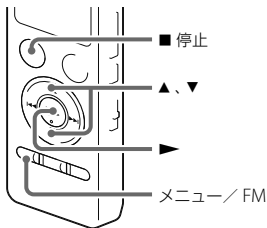
途中でカレンダーから録音した日付を選んで再生するのをやめるには

手順4の前に ■停止ボタンを押します。

■ ご注意

- カレンダーから検索してファイルを再生するには、あらかじめ本機の時計を合わせる必要があります(16ページ)。
- ファイルの存在しない日付を選択して決定した場合は、「ファイルがありません」が表示されます。ファイルが存在する日付を選択してください。
- カレンダーから検索して再生できるのは、本機で録音したファイルが入っている録音可能フォルダのみです。フォルダ構成について詳しくは「フォルダとファイルの構成」(96ページ)をご覧ください。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生



あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。
1ファイルに1件のアラームが設定できます。

1 アラーム再生したいファイルを表示させる。

2 アラーム設定をする。

- ① 停止時にメニュー → ▶ タブ → 「アラーム」を選び、→ ▶ ボタンを押して決定する。

- ② ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

- ① ▲ または ▼ を押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、▶ ボタンを押す。

- ② 次のいずれかの操作を行う。

「日時」を選んだ場合：

「初期設定をする」(16ページ)に従って年月日、時刻を設定します。

曜日や「毎日」を選んだ場合：

▲ または ▼ を押して「時」を選び、▶ ボタンを押し、同じように ▲ または ▼ を押して「分」を選び、▶ ボタンを押します。

- 4 ▲ または ▼ を押し、お好みのアラームパターンを選び、▶ ボタンを押す。



「実行中...」の表示が出ます。

- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。
メニューを終了すると「(●)」が表示されて、選んだファイルにアラームが設定されます。

設定内容を変更するには

アラーム再生したいファイルを表示し、2～5の手順を繰り返します。

設定内容を解除するには

手順2「アラーム設定をする」の手順②で「オフ」を選び、▶ ボタンを押して決定します。アラームが解除されず。表示窓のアラーム表示が消えます。

設定した時刻になると

自動的に電源が入り、「ALARM」が表示されて、アラーム再生が始まります。

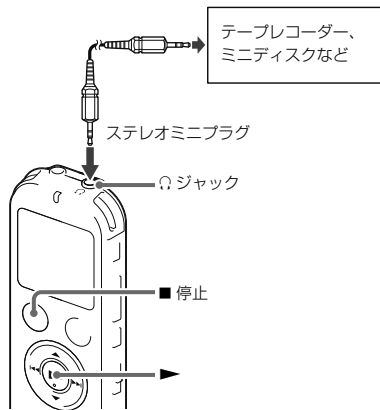
再生が終わると、自動的に停止します(アラームパターンで「ビープ&再生」または「再生」が設定されている場合は、アラーム再生したファイルの頭に戻ります)。

アラーム再生を止めるには

アラーム再生中に音量－/+以外のボタンを押します。ホールド中は、どのボタンを押しても止められます。

接続して再生する

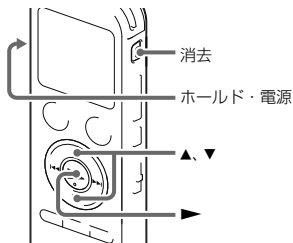
本機の音声を他の機器で録音する



本機につないだ他の機器で本機の音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

- 1 本機の ◯ ジャックと他の機器の外部入力端子を、市販のオーディオコードを使ってつなぐ。
- 2 本機の ▶ ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。
本機のファイルが他の機器に録音されます。
- 3 録音を止めるには、本機の ■ 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

ファイルを消去する



■ ご注意

- 一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。
- 保護設定されているファイルは、消去できません。保護設定を解除してから操作してください。

- 1 ホールド・電源スイッチを「電源」の位置にスライドして電源を入れる(15ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する(27ページ)。

停止画面が表示されます。

- 2 停止中または再生中に消去したいファイルを選ぶ(20ページ)。

- 3 消去ボタンを押す。
「消去しますか?」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

- 4 ▲または▼を押して、「実行」を選ぶ。

- 5 ▶ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。
ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

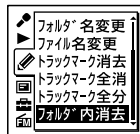
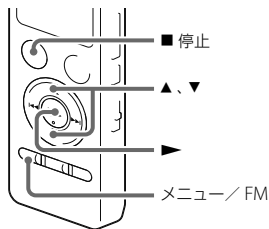
途中で消去をやめるには

手順4で「キャンセル」を選び、▶決定ボタンを押します。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割(67ページ)で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで「ファイルを消去する」の手順3から手順5の操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する



「フォルダ内のファイルを全て消去しますか?」と表示されます。

■ ご注意

保護設定されているファイルは、消去できません。保護設定を解除してから操作してください。

- 1 停止中に消去したいファイルの入っているフォルダを選ぶ。
- 2 メニュー → タブ → 「フォルダ内消去」を選び、▶ ボタンを押して決定する。

- 3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

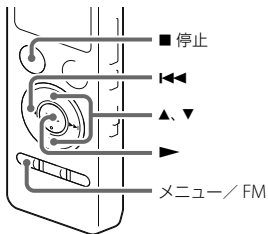
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ ボタンを押します。

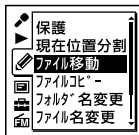
フォルダ内のファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動する

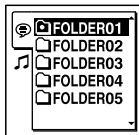


選んだファイルをお好みのフォルダに移動することができます。

- 1 移動させたいファイルを選ぶ。
- 2 停止中にメニュー → 設定タブ → 「ファイル移動」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 3 I◀ を押した後、▲または▼を押して 設定 タブ または 音楽 タブを選び、▶ボタンを押す。
- 4 ▲または▼を押して、移動先のフォルダを選び、▶ボタンを押す。



「移動中...」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

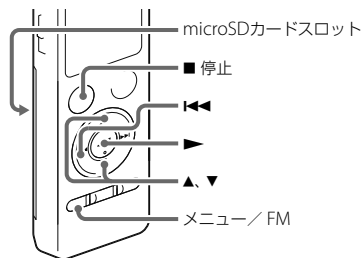
- 5** ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でファイルの移動をやめるには
手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

■ ご注意


- 保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください。
- ポッドキャストのファイルは、移動できません。

ファイルを別のメモリーにコピーする





内蔵メモリーとmicroSDカード間でファイルのコピーができます。バックアップをとる場合などに便利です。操作を始める前に、ファイルコピーに使用するmicroSDカードをmicroSDカードスロットに入れてください。

- 1** コピーしたいファイルを表示する。
microSDカードのファイルを内蔵メモリーにコピーするときは、メモリーをmicroSDカードに切り換えます。(25ページ)

- 2 メニュー →  タブ → 「ファイルコピー」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「microSDカードのコピー先を選択してください」または「内蔵メモリーのコピー先を選択してください」というアニメーションが表示され、フォルダ選択画面が表示されます。

- 3 ◀◀ を押した後、▲ または ▼ を押して  タブ または  タブを選び、▶ ボタンを押す。

- 4 ▲ または ▼ を押して、コピー先のフォルダを選び、▶ ボタンを押す。
「コピー中...」のアニメーションが表示され、コピー先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でコピーをやめるには

手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

コピー中に中止するには

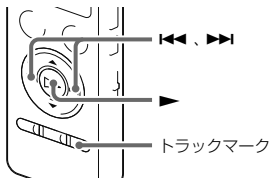
手順4で「コピー中...」のアニメーションが表示されているときに、■ 停止ボタンを押します。

❗ ご注意

ポッドキャストのファイルは、コピーできません。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける



再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

- 1 録音中、再生中、録音一時停止中、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

▶(トラックマーク)表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。



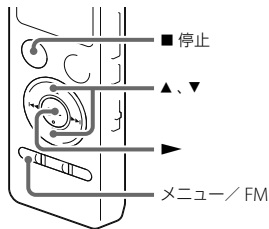
トラックマークを付けた位置を探して聞くには停止中に◀◀または▶▶を押します。

▶(トラックマーク)表示が1回点滅したら、▶ボタンを押します。

⚠ ご注意

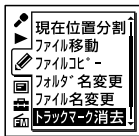
- 保護設定されているファイルには、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルには、トラックマークが付けられません。

トラックマークを消去する



現在位置のトラックマークを消去します。

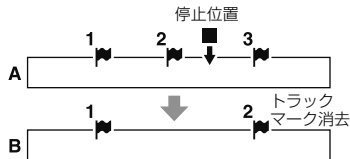
- 1 消去したいトラックマーク位置の後で停止する。
- 2 メニュー→タブ→「トラックマーク消去」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「トラックマークを消去しますか?」と表示されます。

- 3 ▲または▼を押して、「実行」を選び、▶ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークは消去されます。



A: トラックマーク消去前: ■は停止位置

B: トラックマーク消去後: 停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

- 4 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

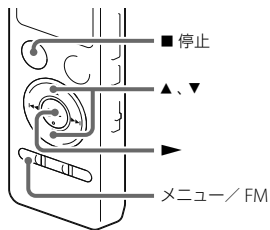
途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ボタンを押します。


❏ ご注意

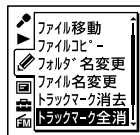
保護設定されているファイルには、トラックマーク消去ができません。保護設定を解除してから操作してください。

すべてのトラックマークを消去する



選んだファイル内のすべてのトラックマークを削除します。

- 1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。
- 2 メニュー →  タブ → 「トラックマーク全消去」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「トラックマークを全て消去しますか?」と表示されます。

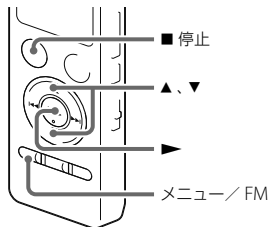
- 3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ ボタンを押します。

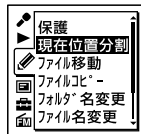
ファイルを分割する

現在位置で分割する



停止中にファイルを分割して、そのファイル名に新しい番号が付けられます。会議など1つのファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

- 1 分割したい位置で停止する。
- 2 メニュー → タブ → 「現在位置分割」を選び、
 ボタンを押して決定する。



「分割しますか?」と表示されます。

- 3 ▲または▼を押して、「実行」を選び、 ボタンを押す。
「分割中...」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

A	ファイル1	ファイル2	ファイル3
	↓	▲	
	ファイル分割		
B	ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2
			ファイル3

A：分割前：▲は分割位置

B：分割後：分割したファイル名の末尾に連番(「_1」、
「_2」)が付く。

- 4** ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

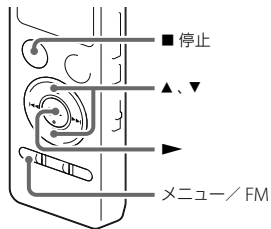
途中で分割をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ボタンを押します。

■ ご注意


- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルは、分割できません。

すべてのトラックマーク位置で分割する



トラックマークのある位置でファイルを分割することができます。

- 1** 分割したいファイルを選ぶ。

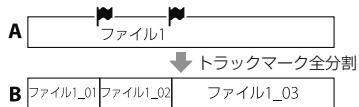
- 2 停止時にメニュー →  タブ → 「トラックマーク全分割」を選び、▶ ボタンを押して決定する。




「全てのトラックマークで分割しますか?」と表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置で分割します。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番(_01 ~)が振られます。



- A : 分割前 :  はトラックマーク位置
B : 分割後 : トラックマーク位置でファイルが分割され、分割したファイル名の末尾に連番(「_01」、「_02」)が付く

- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で分割をやめるには

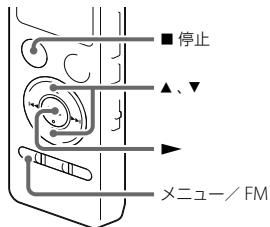
- 手順3で「キャンセル」を選び、▶ ボタンを押します。
- 分割中に中止するには、手順3で「分割中...」のアニメーションが表示されているときに、■ 停止ボタンを押します。

❏ ご注意

- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルは、分割できません。

名前を変更する

フォルダの名前を変更する

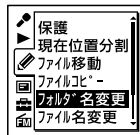


本機で録音できるフォルダに対して、フォルダ名を変更することができます。

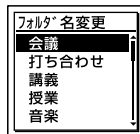
変更するフォルダ名は、テンプレートから選ぶことができます。

- 1 フォルダリストの タブから、名前を変更したいフォルダを選ぶ。

- 2 停止時に、メニュー → タブ → 「フォルダ名変更」を選び、 ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼を押して、お好みのフォルダ名を選び、 ボタンを押す。



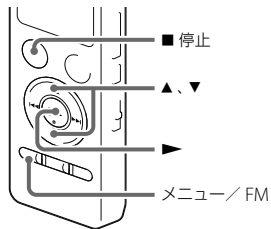
「実行中...」が表示され、フォルダ名が変更されます。


- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。


💡 ヒント



- 同じフォルダ名を選んだときは、フォルダ名の末尾に2～10の数字が付きます。
- テンプレートから「FOLDER」を選んだときは、フォルダ名の末尾には常に01～10の数字が付きます。
- Sound Organizerを使って、テンプレートの編集が可能です。

ファイル名を変更する




録音可能エリアの  タブ内のファイルに対して、ファイル名の先頭に文字を追加することができます。追加する文字は、テンプレートから選ぶことができます。

- 1  タブのフォルダ内で、名前を変更したいファイルを選ぶ。

- 2 停止時に、メニュー →  タブ → 「ファイル名変更」を選び、 ボタンを押して決定する。



- 3 ▲ または ▼ を押して、ファイル名の先頭に追加したい文字を選び、 ボタンを押す。



「実行中...」が表示され、選択した文字または記号と「_」が、ファイル名の先頭に追加されます。

例(151215_001.mp3 に「A」を追加した場合)：

A_151215_001.mp3

- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

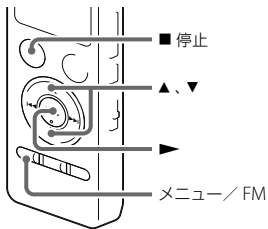
ヒント


Sound Organizerを使って、テンプレートの編集が可能です。




ご注意

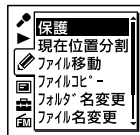
- 保護設定されているファイルは、操作できません。保護設定を解除してから操作してください。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルは、操作できません。

ファイルを保護する



大事なファイルを間違えて消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、 (保護) マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

- 1  タブ、 タブの中から、保護したいファイルを表示する。
- 2 停止時にメニュー →  タブ → 「保護」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「保護に設定しますか?」と表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。
ファイルが保護されます。
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

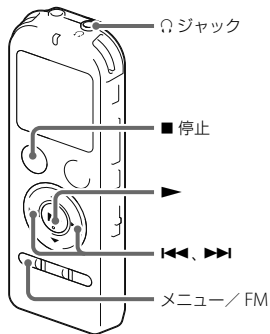
保護を解除するには

保護されたファイルを選び、手順2から手順4を実行します。手順2では「保護を解除しますか?」と表示されます。

❏ ご注意

ポッドキャストファイルは、操作できません。

FMラジオ放送を選局する



FMラジオ受信時は、別売のヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、Ωジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。

スピーカーで聞くとときも、別売のヘッドホンをつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。

地域を設定して放送局を自動登録する (初めてお使いになるとき)

お買い上げ後初めてラジオをお使いになるとき、現在いる地域を設定すると、地域に応じたラジオの放送局を自動でプリセットリストに登録することができます。お買い上げ時は地域設定されていません。

- 1 ヘッドホン(別売)をΩジャックにつなぐ。
- 2 停止中にメニュー / FMボタンを1秒以上長押しする。
FMラジオモードに入ります。
「受信する地域を設定してください」と表示され、地域設定画面が表示されます。
- 3 ▲または▼を押して受信したい地域を選び、▶ボタンを押して決定する。



設定できる地域については、「選択できる地域」をご覧ください。
選んだ地域設定を確認するメッセージが表示されま
す。

4 ▲ または ▼ を押して「実行」を選び、▶ ボタンを押す。

地域が設定されます。選択した地域の放送局がプリ
セットリストに登録されます。
ヘッドホン(別売)がつながっていないときは、「ヘッ
ドホンをつないでください」と表示されます。その
場合は、ヘッドホン(別売)をつないでください。

5 FMラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

👁 ヒント

- 地域の設定はメニューからも操作できます(79ページ)。
- プリセットリストは3つまで登録できます。FMラジオで

受信する地域のプリセット情報を、3地域までプリセット
リストに登録し、切り換えて使用することもできます。

選択できる地域

かんたん設定で選択できる地域は、以下の54地域です。

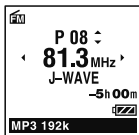
エリア	地域
北海道	北海道(札幌) 北海道(函館) 北海道(旭川) 北海道(帯広) 北海道(釧路) 北海道(北見) 北海道(室蘭)
東北	青森 岩手 秋田 宮城 山形 福島
関東	埼玉 千葉 東京 神奈川 茨城 栃木 群馬
中部	山梨 長野 静岡
東海	愛知 岐阜 三重
北陸	新潟 富山 石川 福井
近畿	大阪 京都 兵庫 滋賀 奈良 和歌山
中国	鳥取 島根 岡山 広島 山口
四国	徳島 香川 愛媛 高知
九州	福岡(福岡) 福岡(北九州) 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島 沖縄

各地域設定で登録される放送局名については、ヘルプガ
イドをご覧ください。

プリセット登録されている放送局から選局する(プリセット選局)

FMラジオ放送局がプリセット登録されているときは、プリセット番号で選局できます。

- 1 停止時にメニュー／FMボタンを1秒以上長押しする。



FMラジオモードに入ります。

ヘッドホン(別売)がつながっていないときは、「ヘッドホンをつないでください」と表示されます。その場合は、ヘッドホン(別売)をつないでください。

- 2 「音声出力選択」で、「ヘッドホン」または「スピーカー」を選ぶ。

メニュー → FMタブ → 「音声出力選択」を選んで設定します。(87ページ)


- 3 お好みの放送局のプリセット(P)番号が表示されるまで、▲または▼を繰り返し押しして選局する。



受信している周波数に放送局名が登録されている場合は、放送局名が表示されます。

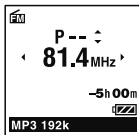
- 4 FMラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

放送局を周波数で選局する (マニュアルスキャン選局)

- 1 停止中にメニュー／FMボタンを1秒以上長押しする。
FMラジオモードに入ります。





- 2 「音声出力選択」で、「ヘッドホン」または「スピーカー」を選ぶ。
メニュー →  タブ → 「音声出力選択」を選んで設定します。

- 3  または  を繰り返し押しして選局する。

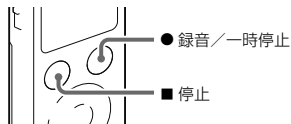


- 4 FMラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

オートスキャン選局するには

手順3で、 または  を、画面上の周波数が変わり始めるまで長押しすると、周波数をスキャンし、放送を受信すると自動的に停止します。
放送を受信できない場合は、 または  を1回ずつ繰り返し押ししてください。

FMラジオ放送を録音する



- 1 録音したい放送局を選局する。
プリセット選局、マニュアルスキャン選局、またはオートスキャン選局のいずれかの方法で選局します。
- 2 ● 録音／一時停止ボタンを押して録音を開始する。
録音操作について詳しくは、「録音を始める」(29ページ)をご覧ください。
- 3 録音を止めるには ■ 停止ボタンを押す。

■ ご注意

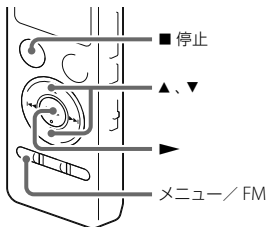
- FMラジオ起動中は、メモリー切り換えや、フォルダの選択ができません。あらかじめ録音したいメモリーとフォルダを選択してから、FMラジオを起動してください。
- FMラジオ放送は、LPCMで録音できません。録音モードを「LPCM 44.1kHz/16bit」に設定している場合は、「MP3 192kbps」で録音されます。
- FMラジオ録音中は、マイク感度の設定、録音フィルター機能、ノイズカット機能、VOR機能は働きません。

💡 ヒント

ファイルはFM録音としてのファイル名(例：151021_0706_J-WAVE)で、現在選択しているフォルダの最後に保存されます。再生用フォルダが選ばれている場合は、利用可能な録音可能フォルダのうちフォルダ一覧の一番上のフォルダが自動的に選ばれます。

プリセットリストを設定、編集する

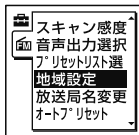
地域を指定して登録する(地域設定)



本機では、3つのプリセットリストに受信する地域を登録し、切り換えて使用することができます。

お住まいの地域のほかに出張や旅行などで訪れる地域の設定をしておくと、設定した地域に移動した際、簡単にその地域のラジオ局を受信することができます。地域設定画面はお買い上げ後初めてFMラジオをお使いになるときに表示されますが、メニューからも選ぶことができます。

- 1 FMラジオ受信中にメニュー → タブ → 「地域設定」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押してお好みの地域を選び、▶ ボタンを押す。
選んだ地域設定を確認するメッセージが表示されます。
- 3 ▲ または ▼ を押して「実行」を選び、▶ ボタンを押す。
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で地域設定をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ボタンを押します。

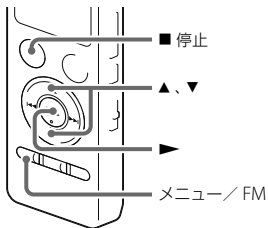
💡 ヒント

- 地域設定を行うと、放送局名を変更することもできます。
- 他のプリセットリストに登録する場合は、あらかじめ登録したいプリセットリストに切り換えてから地域設定を行ってください。

❗ ご注意

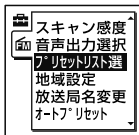
すでにプリセットされているFMラジオ放送局がある場合、地域設定をするとそのプリセットは消え、選択した地域のプリセットに置き換わります。

プリセットした地域設定を切り換える (プリセットリスト選択)



プリセットリストに登録した地域設定を選んで、お使いになる地域の放送局を受信することができます。

- 1 FMラジオ受信中にメニュー → タブ → 「プリセットリスト選択」を選び、 ボタンを押して決定する。



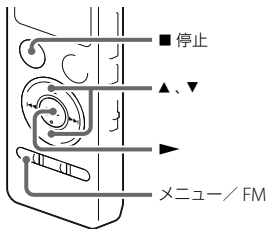
- 2 ▲または▼を押して好みのプリセット地域を選び、 ボタンを押す。

- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ヒント

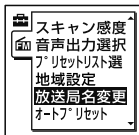
地域設定していない項目は「地域未設定」と表示されます。

放送局名を変更する(放送局名変更)



地域設定がされていると、プリセット登録した放送局に対して、放送局名を変更することができます。FMラジオ受信中に操作を行います。

- 1 FMラジオ受信中にメニュー → **FM**タブ → 「放送局名変更」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して放送局名を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

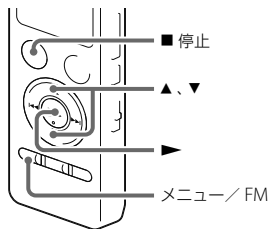
💡 ヒント

放送局を表示したくない場合は、手順2で「設定なし」を選びます。

⚠️ ご注意

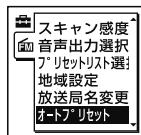
選択したプリセットリストが地域設定されていない場合は、操作できません。

自動でプリセット登録する (オートプリセット)



現在選択しているプリセットリストの地域で受信できるFMラジオ放送局を検出し、プリセット番号に自動で登録することができます。最大30件まで登録することができます。

- 1 FMラジオ受信中にメニュー → タブ → 「オートプリセット」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「オートプリセットしますか?」と表示されます。

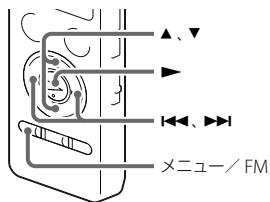
- 2 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。

受信可能な放送局をスキャンし、プリセット番号に低い周波数から高い周波数へ順に自動登録します。オートプリセット実行中、登録予定のプリセット番号が点滅します。

💡 ヒント

- オートプリセットを止めるには ■ 停止ボタンを押してください。■ 停止ボタンを押した時点までに登録したプリセット番号は保持されます。
- 設定途中でオートプリセットを止めるには、手順2で「キャンセル」を選び、▶ ボタンを押します。

手動でプリセット登録する

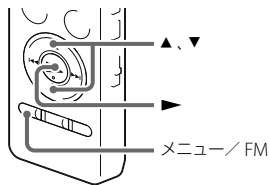


プリセットリストに登録されていないFMラジオ放送局をプリセット登録することができます。

- 1** 停止時にメニュー / FMボタンを1秒以上長押しする。
FMラジオモードに入ります。
- 2** ◀◀ または ▶▶ を繰り返し押し続けてプリセット登録したい放送局を選局する。
選局した放送局がプリセット登録されていない場合、「P--」が表示されます。この場合、新たにプリセット登録することができます。

- 3** ▶ ボタンを押す。
プリセット番号と周波数、および「登録しますか？」が表示されます。
- 4** ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。
放送局がプリセット登録されます。

プリセット登録を消去する



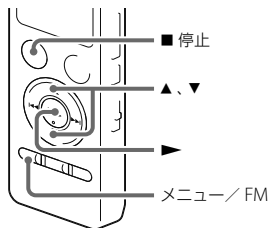
プリセットリストに登録されているFMラジオ放送局のプリセット登録を消去することができます。

- 1 停止時にメニュー／FMボタンを1秒以上長押しする。
FMラジオモードに入ります。
- 2 登録を消去したい放送局のプリセット(P)番号が表示されるまで、▲または▼を繰り返し押しして選局する。

- 3 ▶ボタンを押す。
プリセット番号と周波数、および「消去しますか？」が表示されます。
- 4 ▲または▼を押して、「実行」を選び、▶ボタンを押す。
プリセット番号が「P--」へ変わります。

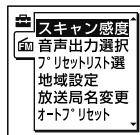
FMラジオ受信の設定を変更する

スキャン感度を切り換える



プリセット時のスキャン感度を設定できます。

- 1 FMラジオ受信中にメニュー → タブ → 「スキャン感度」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



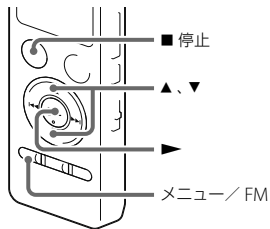
- 2 ▲ または ▼ を押して、「高(SCAN H)」または「低(SCAN L)」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

高(SCAN H)* スキャン感度を高くします。


低(SCAN L) スキャン感を低くします。

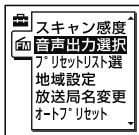
* お買い上げ時の設定

音声の出力先を切り換える



FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中に、メニューで音声の出力先をスピーカーあるいはヘッドホンへ切り換えることができます。

- 1 FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中にメニュー →  タブ → 「音声出力選択」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、「ヘッドホン」または「スピーカー」を選び、▶ ボタンを押す。

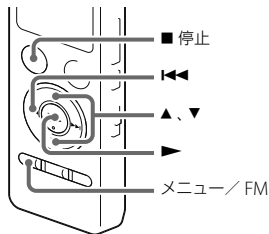
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ヘッドホン* 音声はヘッドホン(別売)から出力されます。

スピーカー 音声はスピーカーから出力されます。

* お買い上げ時の設定

メニューの使いかた



- 1 メニュー/FMボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。



- 2 ◀◀ を押した後、▲または▼を押して 🔍、▶、🔧、📺、📺 タブのいずれかを選び、▶ボタンを押す。
- 3 ▲または▼を押して、設定したい項目を選び、▶ボタンを押す。
- 4 ▲または▼を押して設定し、▶ボタンを押す。
- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

❗ ご注意

操作しない状態が60秒以上続くと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中に ◀◀ を押します。

メニューモードを中止するには

■ 停止ボタンまたはメニュー/FMボタンを押します。

メニュー項目一覧


タブ	メニュー	参照ページ
🎧 (録音)	シーンセレクト	32
	録音モード	35
	マイク感度	35
	録音フィルター	36
	VOR	37
	シンク口録音	39
	外部入力選択	39
	▶ (再生)	書き起こし用再生
ノイズカット		44
エフェクト		48
イージーサーチ		52
再生モード		49
アラーム		56
✎ (編集)		保護
	現在位置分割	67
	ファイル移動	61
	ファイルコピー	62

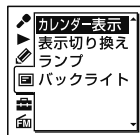
タブ	メニュー	参照ページ
	フォルダ名変更	70
	ファイル名変更	71
	トラックマーク消去	65
	トラックマーク全消去	66
	トラックマーク全分割	68
	フォルダ内消去	60
📅 (表示)	カレンダー表示	54、91
	表示切り換え	91
	ランプ	91
	バックライト	91
🔧 (本体設定)	メモリー切り換え	26、92
	時計設定	17、92
	時刻表示形式	93
	操作音	93
	USB充電	93
	スリープタイマー	93
	オートパワーオフ	94

タブ	メニュー	参照ページ
	設定初期化	94
	メモリー初期化	94
	本体情報	94
FM (FMラジオ)	FMラジオ	74
	スキャン感度	86
	音声出力選択	87
	プリセットリスト選択	81
	地域設定	74、79
	放送局名変更	82
	オートプリセット	83

表示設定をする

表示やランプの設定を選ぶことができます。

- 1 メニュー →  タブを選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、変更したい項目を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

カレンダー表示

画面表示をカレンダーに切り換え、本機で録音したファイルを、カレンダーから検索して再生できます。

決定 選択したファイルを再生します。

戻る 選択したファイルを再生せず、前の画面に戻ります。

表示切り換え

表示モードを設定します。

経過時間* 1ファイルの経過時間

残り時間 停止/再生中は、1ファイルの残り時間、録音中は、録音可能時間
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

録音日付 録音した日付

録音時刻 録音した時刻

* お買い上げ時の設定

ランプ

動作表示ランプの点灯、消灯を設定します。

オン* 動作中は動作表示ランプが点灯または点滅します。

オフ 動作中も動作表示ランプは点灯/点滅しません。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても動作表示ランプは点灯/点滅します。

バックライト

バックライトの点灯、消灯を設定します。


オン* 操作をするとバックライトが20秒間点灯します。

オフ バックライトが点灯しません。

* お買い上げ時の設定

本体設定をする

操作音、オートパワーオフなどの設定を選ぶことができます。

- 1 メニュー →  タブを選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、変更したい項目を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

メモリー切り換え

録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。

内蔵メモリー*	内蔵メモリーを使用します。
microSDカード	本機のmicroSDカードスロットに挿入されているmicroSDカードを使用します。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

microSDカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

時計設定

時計設定の方法を選択します。

自動(対応ソフトと同期)*	本機をパソコンにつないで、Sound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。
手動	「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。

* お買い上げ時の設定

時刻表示形式

時刻表示形式を設定します。

12時間 12:00AM=真夜中、12:00PM=正午

24時間* 0:00=真夜中、12:00=正午

* お買い上げ時の設定

操作音

確認音を設定します。

オン* 操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。

オフ 操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。

USB充電

USB接続中の充電のオン/オフを設定します。

オン* 充電式電池を充電します。

オフ 充電機能は動きません。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

別売のUSB ACアダプターを使って充電するとき(103ページ)は、この設定は関係ありません。

スリープタイマー

スリープタイマーを設定します。

15分、30分、60分、90分、120分 選択した時間が経過すると自動的に電源が切れます。

オフ* スリープタイマーを解除します。

継続 スリープタイマー動作時に表示されます。選択すると、スリープタイマー動作が継続し、表示されている残り時間経過後に、自動的に電源が切れます。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

- オートパワーオフ機能が設定されているときは、スリープタイマーの設定時間の前に電源が切れることがあります。
- FMラジオ受信中、録音中でも、スリープタイマーの設定時間が経過すると電源が切れます。

オートパワーオフ

操作されないまま設定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

5分	約5分後に電源が切れます。
10分*	約10分後に電源が切れます。
30分	約30分後に電源が切れます。
60分	約60分後に電源が切れます。
オフ	電源は自動的に切れません。

* お買い上げ時の設定

設定初期化

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

実行	「アクセス中...」のアニメーションが表示され、設定を初期化します。
キャンセル	初期化しません。

■ ご注意

アラーム、保護、メモリー切り換え、時計設定、地域設定、プリセットリスト、放送局名変更については初期化されません。

メモリー初期化

現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはmicroSDカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

実行	「初期化中...」のアニメーションが表示され、初期化します。
キャンセル	初期化しません。

■ ご注意

- 本機で使うmicroSDカードはパソコンで初期化しないでください。必ず本機で行ってください。
- あらかじめ初期化したいメモリーに切り換えてから(25ページ)、メモリー初期化を実行してください。
- 内蔵メモリーの初期化をすると、内蔵メモリーに保存されていたすべてのデータが消去されます。(保護したファイルやSound Organizerも消去されます。)一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

本体情報

本体の型名、ソフトウェアのバージョン番号、ユーザー名を表示します。ユーザー名はSound Organizerで設定することができます。ファイル名の一部にユーザー名を表示するように設定することもできます。

パソコンにつないで使う

本機とパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する(100ページ)

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する(101ページ)

USBメモリーとして利用する

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存することができます。詳しい説明についてはヘルプガイドをご覧ください。

Sound Organizerでファイルを管理・編集する
ソフトウェアSound Organizerを使って、本機で録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルやポッドキャストを本機に転送したりできます。Sound Organizerの詳しい操作方法については、かんたんスタートガイド(別冊)またはSound Organizerのヘルプをご覧ください。

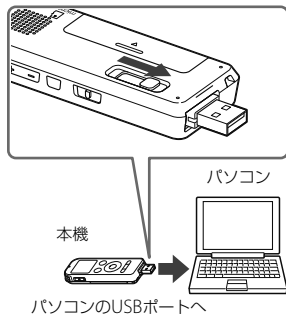
パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、107ページをご覧ください。

本機をパソコンに接続する

本機とパソコンでファイルをやり取りするためには、本機をパソコンに接続します。

- 1 本機のUSB DIRECTつまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。



2 正しく認識されているかを確認する。

Windowsでは、[コンピューター] (または[マイコン
ピュータ])を開き、「IC RECORDER」または
「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認
してください。

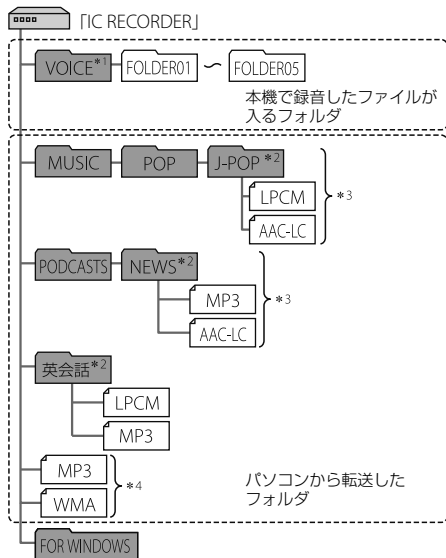
Macでは、Finderに「IC RECORDER」または
「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示さ
れているかを確認してください。

接続するとパソコン側で本機を認識することができ、
ファイルのやり取りが行えます。
接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出
ています。

フォルダとファイルの構成

本機をパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構
成をパソコンの画面で見ることができます。Windows
ではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「IC
RECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォル
ダやファイルを表示できます。
パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合



*1 VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の🔊タブには表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダ配下のフォルダ内にファイルを入れてください。

*2 音楽ファイルやポッドキャストが保存されたフォルダ名は本機でも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておく便利です。(図は、フォルダ名称の例です。)

*3 音楽ファイルを認識できるのは、本機に転送したフォルダの8階層目までとなります。

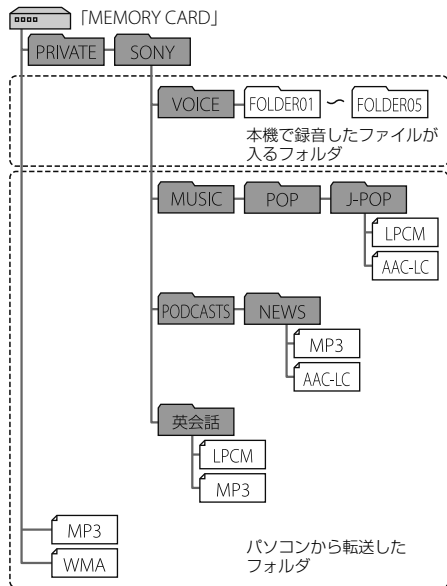
*4 音楽ファイルを単独で転送すると「未分類」のフォルダとして扱われます。

💡 ヒント

- 本機では、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名などの情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておく便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、本機では「No Data」と表示されます。

本機のメモリーを「microSDカード」に切り換えてから(25ページ)パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

microSDカードの場合



本機で見たフォルダの構成

本機の表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なります。(20ページ)

❏ ご注意

本機で再生できるファイルが入っていないフォルダは、本機では表示されません。

本機をパソコンから取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

- 1 本機の動作表示ランプが消えていることを確認する。
- 2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。



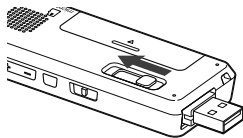
→ [IC RECORDERの取り外し] (Windows 7、Windows 8、Windows 8.1) または、[USB大容量記憶装置 - ドライブを安全に取り外します] (Windows Vista) を左クリックしてください。アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

Macの場合：

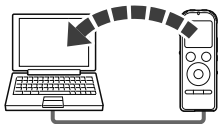
Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取り外しアイコンをクリックしてください。

パソコンから取り外す方法については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 3 本機をパソコンのUSBポートから外し、本機のUSB DIRECTつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。



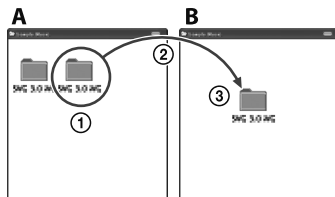
ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する



本機にあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。

- 1 本機をパソコンに接続する(95ページ)。
- 2 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。
「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

☞ ファイルやフォルダをコピーする
(ドラッグアンドドロップ)



ICレコーダーまたは
microSDカード

パソコン

- ①コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
- ②保存先まで移動(ドラッグ)して、
- ③はなす(ドロップ)

- 3 本機をパソコンから取り外す(99ページ)。

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する



パソコンに保存してある音楽(語学)ファイル(LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)*)を本機にコピーして再生することができます。

* 本機で再生可能なファイル形式については、「本機の仕様」(108ページ)をご覧ください。

パソコンにある音楽ファイルを本機にドラッグアンドドロップしてコピーする

- 1 本機をパソコンに接続する(95ページ)。
- 2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダを本機にコピーする。

WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダを「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」にドラッグアンドドロップします。

本機では最大400個のフォルダまで認識できます。1個のフォルダには最大199のファイルを入れることができます。また、1つのメモリーに対して、フォルダとファイルを合計して最大4,095まで認識できます。

- 3 本機をパソコンから取り外す(99ページ)。

コピーした音楽ファイルを本機で再生する

- 1 フォルダボタンを押す。
- 2 ◀◀ を押した後、▲または ▼ を押して ♪ タブを選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ▲ または ▼ を押して、音楽ファイルを入れたフォルダ(📁)を選び、▶ ボタンを押す。

フォルダ内のファイル選択画面を表示するには、▲
または ▼ を押してフォルダを選び、▶▶ を押します。

4 再生したい音楽ファイルを選ぶ。

ファイル選択画面が表示されているときは、▲ または ▼ を押して、ファイルを選び、▶ ボタンを押します。

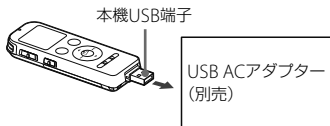
停止画面が表示されているときは、◀◀ または ▶▶ を押してファイルを切り換えることができます。

5 ▶ ボタンを押して再生を始める。

▲ または ▼ を押して再生中の音楽ファイルの情報を確認することができます。(43ページ)

6 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

USB ACアダプターにつないで使う



USB ACアダプター (別売)を使って、本機と家庭用電源 (コンセント)をつないで充電式電池を充電したり、本機を使用することができます。充電をしながら本機を使用することができるため、長時間録音をする場合に便利です。

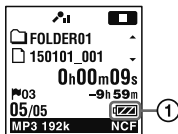
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「**Full**」になるまで連続して充電してください。

電池を使いきった状態から約3時間30分*で充電が完了します。

* 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間と異なる場合があります。

1 別売のUSB ACアダプターをコンセントにつなぐ。

2 本機のUSB DIRECTつまみをスライドし、USB ACアダプターにつなぐ。
充電中は、電池マーク(①)がアニメーション表示されます。
充電をしながら本機を使うことができます。



ⓘ ご注意

- 内蔵スピーカーで再生中は充電できません。
- 単4形アルカリ乾電池 (別売)は充電できません。
- FMラジオ受信中、またはFMラジオ録音中は充電できません。

本機を取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

- 1 録音や再生などの動作中の場合、■ 停止ボタンを押して動作を停止する。
- 2 動作表示ランプが消えていることを確認する。
- 3 本機をUSB ACアダプターから取り外し、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

■ ご注意

録音中(動作表示ランプが赤に点灯、点滅)やアクセス中(動作表示ランプがオレンジに点滅)はコンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターから本機を抜き差ししたり、本機を接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

使用上のご注意

使用場所について

運転中の使用は危険ですでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特にキッチンでの使用や雨や雪、湿度の多い場所での使用はご注意ください。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じるがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からびきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

microSDカードのご使用について

- 初期化は必ず本機で行ってください。パソコンなど本機以外の機器を用いて初期化したmicroSDカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
- microSDカードは、小さいお客様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／初期化中は、microSDカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」、「初期化中...」のアニメーションが表示されている間や、動作表示ランプがオレンジに点滅している間はmicroSDカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。
- ROMタイプのmicroSDカード、誤消去防止、書き込み禁止のmicroSDカードは、ご使用できません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - － 読み込み中、書き込み中にmicroSDカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
 - － 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。

- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所ではお使いにならないでください。
 - － 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉めた切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - － 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

Sound Organizerをお使いの場合は、**かんたんスタートガイド**をご覧ください。

OS

- Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 (Service Pack1以降) / Windows Vista (Service Pack2以降)
 - Mac OS X (v10.6 ~ v10.10)
- 標準インストール(日本語版のみ)

■ ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、123ページに記載のICレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

■ ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニター環境での動作保証はいたしません。

本機の仕様

容量(ユーザー使用可能領域)

4 GB (約3.60 GB = 3,865,470,566 Byte)

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

最大フォルダ数(1ドライブ内)

400フォルダ

最大ファイル数(1フォルダ内)

199ファイル

最大ファイル数(1ドライブ内)

4,074ファイル(フォルダ数が21の場合)

周波数範囲

- LPCM 44.1kHz/16bit : 50 Hz ~ 20,000 Hz
- MP3 192kbps : 50 Hz ~ 20,000 Hz
- MP3 128kbps : 50 Hz ~ 16,000 Hz
- MP3 48kbps(MONO) : 50 Hz ~ 14,000 Hz
- MP3 8kbps(MONO) : 50 Hz ~ 3,400 Hz

対応ファイルフォーマット

MP3*1

- ビットレート : 32 kbps ~ 320 kbps, 可変ビットレート (VBR)対応
- サンプリング周波数 : 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
- 拡張子 : .mp3

*1 これに加えて本機の各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

WMA*2

- ビットレート : 32 kbps ~ 192 kbps, 可変ビットレート (VBR)対応
- サンプリング周波数 : 44.1 kHz
- 拡張子 : .wma

*2 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR (Multi Bit Rate)、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

AAC-LC*3

- ビットレート : 16 kbps ~ 320 kbps, 可変ビットレート (VBR)対応
- サンプリング周波数 : 11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
- 拡張子 : .m4a

*3 著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのAACエンコーダーに対応しているわけではありません。

LPCM

- サンプリング周波数 : 44.1kHz
- 量子化ビット数 : 16 ビット
- 拡張子 : .wav

FMラジオ受信周波数

76.0 MHz ~ 108.0 MHz

FMアンテナ

ヘッドホンコードアンテナ

スピーカー

直径20 mm

入・出力端子

- 外部入力(ステレオミニジャック)
プラグインパワー対応 最小入力レベル：0.9 mV
- ヘッドホン(ステレオミニジャック)
推奨負荷インピーダンス：16 Ω
- USB端子(USB Type-A端子) High-Speed USB対応
- カードスロット
microSD対応スロット

再生スピード調節(DPC)

- 2.00倍速～0.50倍速：MP3/WMA/AAC-LC
- 1.00倍速～0.50倍速：LPCM

実用最大出力

90 mW

電源

- DC1.2 V、単4形充電式ニッケル水素電池(付属)1本
- DC1.5 V、単4形アルカリ乾電池(別売)1本

動作温度

5℃～35℃

最大外形寸法(最大突起部含まず)

約36.6 mm×102.0 mm×13.9 mm
(幅/高さ/奥行き)(JEITA*4)

質量

約58 g (充電式ニッケル水素電池1本含む)(JEITA*4)

*4 電子情報技術産業協会(JEITA)規格。

付属品

9ページ参照

別売アクセサリ

- エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ECM-CZ10、ECM-CS3、ECM-TL3
- USB ACアダプター AC-UD20
- 充電式ニッケル水素電池単4形 NH-AAA-2BKB
- ニッケル水素電池専用充電器・充電電池セット BCG34HW24K

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間

最大録音時間*5*6は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード (録音シーン*7)	内蔵メモリー	microSDカード				
		2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
LPCM 44.1kHz/16bit	6時間	3時間	6時間	12時間5分	24時間15分	48時間40分
MP3 192kbps 	44時間40分	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間
MP3 128kbps (🗣️/🎧)	67時間5分	33時間30分	67時間5分	134時間	268時間	536時間
MP3 48kbps(MONO)	178時間	89時間25分	178時間	357時間	715時間	1,431時間
MP3 8kbps(MONO)	1,073時間	536時間	1,073時間	2,147時間	4,294時間	8,589時間

*5 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは電池の持続時間(111ページ)をご確認ください。

*6 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

*7 お買い上げ時の設定です。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数*8

ビットレート	再生時間	曲数
48 kbps	178時間	2,670ファイル
128 kbps	67時間5分	1,006ファイル
256 kbps	33時間30分	502ファイル

*8 パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

充電式電池の持続時間*¹ (ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時)

録音モード	録音時	スピーカー再生時* ²	ヘッドホン再生時	FMラジオ録音時
LPCM 44.1kHz/16bit	約22時間	約14時間	約34時間	—
MP3 192kbps	約24時間	約15時間	約41時間	約7時間30分
MP3 128kbps	約24時間	約15時間	約41時間	約7時間30分
MP3 48kbps(MONO)	約25時間	約15時間	約41時間	約7時間30分
MP3 8kbps(MONO)	約30時間	約15時間	約41時間	約8時間
音楽ファイル(128 kbps/44.1 kHz)	—	約15時間	約41時間	—

FMラジオ受信(ヘッドホン再生時)：約9時間

乾電池の持続時間*¹ (ソニーアルカリ乾電池LR03 (SG)を連続使用時)

録音モード	録音時	スピーカー再生時* ²	ヘッドホン再生時	FMラジオ録音時
LPCM 44.1kHz/16bit	約24時間	約20時間	約49時間	—
MP3 192kbps	約29時間	約22時間	約61時間	約8時間30分
MP3 128kbps	約31時間	約22時間	約61時間	約8時間30分
MP3 48kbps(MONO)	約33時間	約22時間	約61時間	約8時間30分
MP3 8kbps(MONO)	約42時間	約22時間	約61時間	約10時間
音楽ファイル(128 kbps/44.1 kHz)	—	約22時間	約61時間	—

FMラジオ受信(ヘッドホン再生時)：約11時間

*¹ 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

*² 音量レベルを23に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付(取扱説明書の裏面)されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(138ページ)、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修・性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

困ったときは

「症状から調べる」(114ページ)の各項目で調べる。

電池を入れなおす。
電池を入れなおすと問題が解決することがあります。

充電する。
充電すると問題が解決することがあります。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(138ページ)またはお買い上げ店に相談する。

パソコンを利用できる場合

- ヘルプガイドで調べる(123ページ)
パソコンで「ICレコーダー」の操作について、説明があります。
- ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる(123ページ)
インターネットに接続できる環境の場合、サポートホームページで最新情報を調べることができます。
- Sound Organizerのヘルプで調べる
Sound Organizerについての操作方法はSound Organizerのヘルプで調べることができます。

症状から調べる



修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
なお、保証書とアフターサービスについては、112ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは(本機)

分類	症状	原因/処置
ノイズ	ノイズが多く聞き取りにくい。	<ul style="list-style-type: none">音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。 → 再生時に、ノイズカット機能を「オート」、「強」、「弱」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします(44ページ)。 全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができません。
	ノイズを少なく録音したい。	<ul style="list-style-type: none">録音フィルター機能の「NCF(Noise Cut)」または、「LCF(Low Cut)」を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます(36ページ)。 また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます(32ページ)。
	カサカサと音が録音されている。	<ul style="list-style-type: none">録音したとき、本機に手などがあたってたり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。 → 録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
	ジリジリと音が録音されている。	<ul style="list-style-type: none">録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 → 本機を離して録音してください。

分類	症状	原因/処置
ノイズ	外部マイク(別売)で録音すると、雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 外部マイクのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
	ヘッドホン(別売)で聞くと雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホン(別売)のプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
	ノイズカット機能を設定しているのにノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵スピーカーで再生しているとき、FMラジオ録音中は、ノイズカット機能は無効になります。 ノイズカット機能が「オート」に設定されていると、自動的にノイズカットレベルが調節されますが、シーンセレクトの設定が「会議」、「講演」、「ボイスメモ」、「インタビュー」のいずれかの状態で録音したファイルを再生する場合は、ノイズカット機能が自動的に「弱」に設定されます(44ページ)。
電源	電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗しています。 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しいですか？ (12ページ)。 電源がオフになっています。 → 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります(15ページ)。 ホールドがオンになっています。 → ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドしてください(27ページ)。
	電源が切れない。	<ul style="list-style-type: none"> 停止中に、「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます(15ページ)。
	電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。(お買い上げ時は、設定は10分になっています。)メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます(94ページ)。 スリープタイマーが設定されています(93ページ)。

分類	症状	原因/処置
電源	電池の持続時間が短い。	<ul style="list-style-type: none"> 111ページの電池の持続時間は、音量レベルを23で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る(15ページ)か、電池を外しておくことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定(94ページ)時間を短くしておくことと切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。 短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量が無い状態からフル充電までは約3時間30分かかります。 しばらく使用していませんか?何回か充電、放電(本機に入れて使用する)を繰り返してください。 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。 充電式電池が劣化しています。 <ul style="list-style-type: none"> → 付属の充電式電池は、ご使用の環境にもよりますが約1,000回の充電が可能です。十分に充電した状態でも、使用できる時間が通常の半分ほどになった場合、新しい充電式電池(別売)に交換してください。 マンガン電池を使用しています。本機には、マンガン電池はお使いになれません。
充電	パソコンで充電できない。	<ul style="list-style-type: none"> 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態(スタンバイ、スリープ)のときは充電できません。 メニューで「USB充電」が「オフ」になっています。 <ul style="list-style-type: none"> → パソコンに接続して充電する場合は、設定を「オン」にしてください(93ページ)。 パソコンから本機を外し、再度接続してください。

分類	症状	原因/処置
充電	充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> 充電式電池が入っていないか、充電式電池以外の電池(アルカリ電池、マンガン電池など)が入っています。 充電式電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくありません(12ページ)。 本機のUSB端子が正しく接続されていません。 内蔵スピーカーで再生中やFMラジオ受信中は充電できません。 充電式電池が不活性化しています。 <ul style="list-style-type: none"> → 長期間使わないと、電池が「不活性化」という現象になることがあります。この現象は、何度か充電と放電を繰り返しながら使っているうちに、回復することがあります。回復しない場合は、新しい充電式電池(別売)に交換してください。
	電池残量、充電表示部に COLD または HOT が点滅表示している。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の充電可能な温度範囲外になっています。周囲温度が動作温度(5℃～35℃)になるようにしてください。
動作	正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池を取り出して、もう一度入れ直してください。 パソコンで初期化しています。 <ul style="list-style-type: none"> → 本機で初期化を行ってください(94ページ)。
	動作表示ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> → 「オン」に切り換えてください(91ページ)。
録音	録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> 録音残り時間が不足している場合は録音できません。 再生専用エリアの  タブ、 タブで管理されているフォルダには録音できません。
	録音が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none"> VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください(37ページ)。
	VOR機能が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> シンクロ録音では、VOR機能は動きません(37ページ)。 FMラジオを録音しています。FMラジオ録音中はVOR機能は動きません。

分類	症状	原因/処置
録音	他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 他の機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。 抵抗入りのオーディオコードを使うと録音レベルが小さくなります。抵抗なしコードをお使いください。
再生	再生音量が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> 本機に内蔵しているスピーカーはモニター用のため、再生音が小さくなっています。→ ヘッドホン(別売)を使用してください。
	スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホン(別売)をつないでいます(51ページ)。 FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「ヘッドホン」に設定されていません。→ 「スピーカー」に切り換えてください(87ページ)。
	ヘッドホン(別売)をつないでいても、スピーカーから音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 再生中にヘッドホン(別売)を差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。→ いったんヘッドホン(別売)を抜いて、最後までしっかり差し込んでください。 FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「スピーカー」に設定されていません。→ 「ヘッドホン」に切り換えてください(87ページ)。
	「エフェクト」で音質が変化しない	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵スピーカーで再生している場合や、FMラジオ受信中はエフェクト設定は無効になります。 「ノイズカット」が「オート」、「強」、または「弱」に設定されているときは、エフェクト設定は働きません(44ページ)。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> DPC(速度調節)スイッチが「入」になっているため、▲または▼で調節した再生スピードで再生されています。→ DPC(速度調節)スイッチを「切」にすると、通常で再生されます。または、▲または▼で再生スピードを調節してください(47ページ)。 LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。「NO FAST」と表示されます。 	

分類	症状	原因/処置
再生	音楽ファイルの再生音質が良くない。	<ul style="list-style-type: none"> 「ノイズカット」が「オート」、「強」、または「弱」に設定されています。 → 音楽ファイルを再生するときは、「ノイズカット」を「オフ」に設定してください(44ページ)。
編集	ファイルを分割できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーに一定の空き容量がありません。 選んだフォルダ(📁)に199のファイルが入っています。 → 不要なファイルを消去する(59ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。 システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 本機で録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は、分割できません。
	ファイルを移動できない。	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャストは移動できません。 保護されているファイルは移動できません。 microSDカードにはファイルは移動できません。
	ファイルを別のメモリーへコピーできない。	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャストはコピーできません。
時計	時計表示が「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていません(16ページ)。
	録音日時表示が「-y--m --d」または「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
表示	メニュー表示の項目が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> 再生、録音中、書き起こし用再生中、またはFMラジオ受信中は、表示されないメニューがあります。
	本機に表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。	<ul style="list-style-type: none"> 本機ではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、Sound Organizerでの残量表示と異なる場合があります。

分類	症状	原因/処置
ファイル	「メモリー一杯です」のアニメーションが表示され、録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーがいっぱいになっています。 → 不要なファイルを消去する(59ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。
	「ファイル一杯です」のアニメーションが表示され、操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> 選んだフォルダ(📁)に199のファイルが入っているか、または、全体で4,074のファイル(フォルダが21個のとき)が入っているため、録音やファイル移動ができません。 → 不要なファイルを消去する(59ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。
	microSDカードが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください(23ページ)。 本機のメモリーを「microSDカード」に切り換えてください(25ページ)。
パソコン	変更したメニュー設定が反映されていない。	<ul style="list-style-type: none"> 設定変更直後に電池が抜かれたり、電池残量が無い状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
	フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> WindowsのエクスプローラまたはMacのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。
	ファイルコピーに時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
	パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンから本機を外し、再度接続してください。 USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、本機を直接接続してください。 本機が対応しているシステム構成(107ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。 お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

分類	症状	原因/処置
パソコン	本機に転送したファイルが表示されない、または再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> 表示できるファイルは8階層目までです。 本機で対応しているLPCM(wav)/MP3(mp3)/WMA(wma)/AAC-LC(m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。本機の仕様をご確認ください(108ページ)。
	パソコンが起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機をパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → 本機をパソコンから外して起動してください。
FMラジオ	スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「ヘッドホン」に設定されていません。 → 「音声出力選択」を「スピーカー」にしてください(87ページ)。
	ヘッドホン(別売)をつないでいても、スピーカーから音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「スピーカー」に設定されていません。 → 「音声出力選択」を「ヘッドホン」にしてください(87ページ)。
	FMラジオ受信中、音声小さい、または音質がよくない。	<ul style="list-style-type: none"> テレビから離してお使いください。
	FMラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオ受信中は、テレビから離れてください。
	FMラジオの放送局を受信できない、雑音聞こえる。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホン(別売)をつないでいない。ヘッドホン(別売)がFMアンテナの役割をします。 → ヘッドホン(別売)を Ω ジャックにつなぎ、コードをのぼしてください。
	FMラジオ放送がプリセット登録できない。	<ul style="list-style-type: none"> FMラジオ放送局が30件登録されています。 → プリセット登録を消去してください(85ページ)。 メニューの「スキャン感度」が「低(SCAN L)」に設定されています。 → 「スキャン感度」設定を「高(SCAN H)」にしてください(86ページ)。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	<ul style="list-style-type: none">パソコンを使って、本機に転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつ本機に転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	<ul style="list-style-type: none">録音中のファイルまたは音楽がファイルサイズの上限(LPCMは2 GB、MP3は1 GB)に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	<ul style="list-style-type: none">パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、ファイル名、アーティスト名、タイトル名が文字化け、または「□」が表示される。	<ul style="list-style-type: none">本機で表示できない文字が使用されています。フォルダ名、ファイル名、アーティスト名または、タイトル名を半角英数字に置き換えてください。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	<ul style="list-style-type: none">ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	<ul style="list-style-type: none">ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- Q&A (よくある問い合わせ情報)
- 動画でサポート(上手な録音方法(シーン別録音のコツ)など)
- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Sound Organizerのソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- 製品登録(製品登録へのご案内)
- Sound Organizerや「ヘルプガイド」のダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ(<http://rd1.sony.net/help/icd/u53a/ja/>)で見ることができます。



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



禁止

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド(Ni-Cd)

ニッケル水素(Ni-MH)

リチウムイオン(Li-ion)

乾電池

アルカリ、マンガン



危険

充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(138ページ)またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。



危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れてない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について



Ni-MH

ニッケル水素充電電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

⚠ 警告 乾電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠ 注意 乾電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- AmiVoiceおよびAmiVoiceのロゴマークは株式会社アドバンスト・メディアの商標です。
- Nuance、Nuanceのロゴ、Dragon、Dragon NaturallySpeaking、RealSpeakは、米国とその他の国々におけるNuance Communications Inc.、およびその関連会社の商標または登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

索引

数字、記号、アルファベット順

AAC-LC	108
A-Bリピート	50
DPC (Digital Pitch Control)	47
FMラジオ	
FMラジオを聞く	74, 76, 90
FMラジオを録音する	78
音声の出力先を切り換える	87, 90
自動でプリセット登録する	83, 90
手動でプリセット登録する	84
スキャン感度を切り換える	86, 90
LCF(Low Cut)	36
LPCM	108
microSDカード	23, 24, 25, 26, 98, 106
MP3	108
Myシーン編集	34
NCF(Noise Cut)	36
USB ACアダプター	103
USB充電	89, 93

VOR (Voice Operated Recording)	37, 89
WMA	108

五十音順

あ行

アフターサービス	112
アラーム	56, 89
イージーサーチ	52, 89
エフェクト	48, 89
オートパワーオフ	89, 94
オートプリセット	83, 90
お手入れ	105
音楽ファイルを本機にコピー	101
音声出力選択	87, 90
音量調節	31, 42

か行

外部入力選択.....	40, 89
書き起こし用再生.....	45, 89
各部のなまえ	
本体(裏面).....	11
本体(表面).....	10
カレンダー表示.....	54, 89, 91
乾電池.....	111
キュー.....	51
現在位置分割.....	67, 89
困ったときは.....	113

さ行

再生.....	42
再生モード.....	49, 89
シーンセレクト.....	32, 89
時刻表示形式.....	89, 93
システム構成.....	107
システム上の制約.....	122
充電式電池.....	12, 103, 111
充電する.....	12, 103
修理.....	112

仕様.....	107
消去.....	59, 65
使用上のご注意.....	105
シンクロ録音.....	39, 89
スキャン感度.....	86, 90
スリープタイマー.....	89, 93
設定初期化.....	90, 94
操作音.....	89, 93

た行

他の機器から録音.....	39
他の機器へ録音.....	58
タブを選ぶ.....	21
地域設定.....	74, 79, 90
電源を入れる.....	15
電池持続時間.....	111
電池マーク.....	13, 103
時計設定.....	16, 89, 92
トラックマーク.....	64
トラックマーク消去.....	65, 89
トラックマーク全消去.....	66, 89
トラックマーク全分割.....	68, 89

な行

内蔵マイク	29
内蔵メモリー	25, 97
ノイズ	105
ノイズカット	44, 89

は行

パソコンにつなぐ	12, 95
パソコンを活用する	95
バックライト	89, 91
表示切り換え	89, 91
ファイル移動	61, 89
ファイルコピー	62, 89
ファイル消去	59
ファイル名変更	71, 89
ファイルをパソコンにコピー	100
ファイルを別のメモリーにコピー	62, 89
フォルダ	61, 96
フォルダ内消去	60, 89
フォルダ、ファイルを選ぶ	20
フォルダ名変更	70, 89
プリセット選局	76

プリセットリスト	74, 79
プリセットリスト選択	81, 90
編集	61
放送局名変更	82, 90
ホールド	27
ホールド・電源スイッチ	15, 27
保護	73, 89
保証書	112
本体情報	90, 94

ま行

マイク感度	35, 89
マニュアルスキャン選局	77
メニュー	
USB充電	89, 93
VOR	37, 89
アラーム	56, 89
イージーサーチ	52, 89
一覧	89
エフェクト	48, 89
オートパワーオフ	89, 94
オートプリセット	83, 90
音声出力選択	87, 90

外部入力選択	40, 89
書き起こし用再生	45, 89
カレンダー表示	54, 89, 91
現在位置分割	67, 89
再生モード	49, 89
シーンセレクト	32, 89
時刻表示形式	89, 93
シンクロ録音	39, 89
スキャン感度	86, 90
スリープタイマー	89, 93
設定初期化	90, 94
操作音	89, 93
地域設定	74, 79, 90
使いかた	88
時計設定	17, 89, 92
トラックマーク消去	65, 89
トラックマーク全消去	66, 89
トラックマーク全分割	68, 89
ノイズカット	44, 89
バックライト	89, 91
表示切り換え	89, 91
ファイル移動	61, 89
ファイルコピー	62, 89
ファイル名変更	71, 89

フォルダ内消去	60, 89
フォルダ名変更	70, 89
プリセットリスト選択	81, 90
放送局名変更	82, 90
保護	73, 89
本体情報	90, 94
マイク感度	35, 89
メモリー切り換え	26, 89, 92
メモリー初期化	90, 94
ランプ	89, 91
録音可能時間	91
録音先フォルダ	29
録音フィルター	36, 89
録音モード	35, 89
メモリー切り換え	25, 26, 89, 92
メモリー初期化	90, 94

5行

ランプ	89, 91
レビュー	31, 51
録音	29, 32
録音一時停止	31
録音時間	110

録音フィルター.....	36, 89
録音モード.....	35, 89
録音モニター.....	31
録音レベルガイド.....	30

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには→ICレコーダー サポート・お問い合わせへ(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)
ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- 電話・FAXでのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)
 - 本機の商品カテゴリーは[ICレコーダー]です。
 - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
 - ◆セット本体に関するご質問時：
 - 型名：ICD-UX533FA
 - シリアルナンバー：電池ボックス内に記載
 - ご相談内容：できるだけ詳しく
 - お買い上げ年月日
 - ◆ソフトウェアに関連するご質問時：
質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

**使い方
相談窓口**

フリーダイヤル…………… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

**修理
相談窓口**

フリーダイヤル…………… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



左記番号へ接続後、最初の
ガイダンスが流れている間に
「303」+「#」を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) **0120-333-389**

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種類（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソーサースターション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に連する遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種類について引取修理を、持込修理の種類について出張修理・引取修理を、引取修理の種類について保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

3. 保証期間内のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理・改造による故障・損傷(6)お買上げ後の移設・輸送・落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換がありますのでご了承ください。

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づき無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時のご保証期間が適用されます。

7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メニュー

*本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。

TO1-4

保証書

持込修理

品名	ICレコーダー			
型名	ICD-UJX533FA			
お買上げ日	平成・西暦	年	月	日

本書は、本書記載内容(裏面記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

--

お問合せ先：修理相談窓口

フリーダイヤル： **0120-222-330**

携帯電話・PHS 一部のIP電話からは、050-3754-9599

ホームページ：<http://www.sony.jp/support/>

ソニーマーケティング株式会社

東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所 お名前	電話	-

様

TO1-4



(1)